



TJ-4021TN/4121TN/4121TNR

ユーザーズガイド (日本語)

著作権情報

本書および本書に記載されているソフトウェア、プリンターのファームウェアの著作権はブラザーに帰属します。All rights reserved.

この文書の情報は、予告なく変更されることがあり、ブラザーはその内容について何ら責任を負いません。本書をブラザーから事前に書面による許可を得ることなく、購入者の個人的な使用目的以外で、複写または送信することは形式や手段を問わず禁止されています。

商標

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation からライセンス供与されています。その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

すべての国や地域で、すべてのモデルが発売されているわけではありません。

目次

1. はじめに.....	1
1.1 製品情報.....	1
1.2 補足情報.....	1
2. 操作の概要.....	2
2.1 開梱して部品を確認する.....	2
2.2 各部の名称.....	3
2.2.1 外観図.....	3
2.2.2 内面図.....	5
2.2.3 背面図.....	6
2.3 コントロールパネル.....	7
2.3.1 ステータス LED とボタン.....	8
2.3.2 ホーム画面のアイコン.....	9
2.3.3 タッチパネルの概要.....	10
3. プリンターをセットアップする.....	14
3.1 電源コードを接続する.....	14
3.2 リボンをセットする.....	15
3.3 使用済みリボンを取り除く.....	18
3.4 用紙をセットする.....	19
3.4.1 ラベルロールをセットする.....	19
3.4.2 外付け用紙をセットする.....	22
3.4.3 ハクリモードで用紙をセットする (オプション).....	25
3.4.4 カッターモードで用紙をセットする (オプション).....	30
4. 印刷品質を向上する.....	36
4.1 印字ヘッドのテンションを調整して印刷品質を向上する.....	36
4.2 ラベルのシワを防ぐ.....	36
4.2.1 リボンのテンションを調整する.....	36
4.2.2 印字濃度設定を変更する.....	38
4.2.3 違う用紙で試してみる.....	38
5. 印刷.....	39
5.1 プリンタードライバのインストール.....	39
5.1.1 USB 接続 (Windows/Mac/Linux).....	39
5.1.2 Wi-Fi ネットワーク接続 (Windows).....	40
5.1.3 有線ネットワーク接続 (Windows).....	41
5.2 印字方式 (感熱方式・熱転写方式) の設定.....	42
5.3 BarTender を使用してラベルを作成・印刷する.....	44

6. 操作.....	45
6.1 パワーオンユーティリティ	45
6.1.1 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション	45
6.1.2 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る	46
6.1.3 プリンターの初期化.....	50
6.1.4 メディアセンサーキャリブレーション (ブラックマークセンサー用)	51
6.1.5 メディアセンサーキャリブレーション (ギャップセンサー用)	51
6.1.6 AUTO.BAS プログラムをスキップする	51
7. タッチパネルを使用して印刷設定を変更する	53
7.1 設定メニュー	53
7.1.1 FBPL 設定	53
7.1.2 ZPL2 設定.....	55
7.2 センサー調整	58
7.3 インターフェイス設定	59
7.3.1 シリアル通信設定	59
7.3.2 イーサネット設定	60
7.3.3 Wi-Fi 設定	61
7.3.4 RFID (Radio Frequency Identification) 設定	63
7.4 詳細設定	70
7.5 ファイルマネージャー	71
7.6 プリンタ診断機能	72
8. Brother Printer Management Tool (BPM)	73
8.1 BPM を実行する	73
8.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う	74
8.2.1 LCD を使用しての用紙の自動キャリブレーション	75
9. RFID の設定	76
9.1 はじめに	76
9.2 RFID キャリブレーション	77
9.2.1 RFID 用紙のセット	77
9.2.2 RFID キャリブレーションの手順	78
10. 製品仕様.....	81
11. トラブルシューティング	84
11.1 一般的な問題	84
11.2 タッチパネルのエラーメッセージ	87
11.3 RFID エラーメッセージ (TJ-4121TNR).....	88
12. メンテナンス	91

1. はじめに

1.1 製品情報

本ラベルプリンターは、その優れた設計により、最大 450 m のリボンと 8 インチ外径 のラベルロールに対応しています。

本機には次の機能を始めとする様々な機能が装備されています。

- 内蔵イーサネット
- RS-232C シリアルポート
- USB 2.0 ポート (キーボード、バーコードスキャナー接続用)
- 無線 LAN ユニット拡張スロット (オプションの 無線 LAN ユニット (PA-WI-002) 用)
- 3.5 インチカラータッチパネル

本機は高性能で高品質である、内蔵の Monotype Imaging® TrueType フォントエンジンとなめらかなスケーラブルフォント CG Triumvirate Bold Condensed を使用しています。また、8 種類の異なるサイズの英数字ビットマップフォントも使用でき、ほとんどの標準バーコード形式にも対応しています。

1.2 補足情報

ご使用になるラベルプリンターのカスタムプログラムの記述方法については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページで「*Command Reference*」 (コマンドリファレンス) をご覧ください。

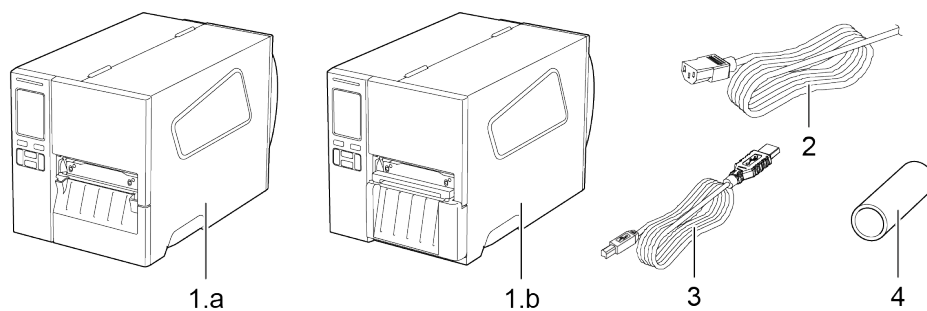
2. 操作の概要

2.1 開梱して部品を確認する

お願い

今後プリンターを運搬する必要が生じたときのため、梱包材は保管しておいてください。

箱に入っている部品：



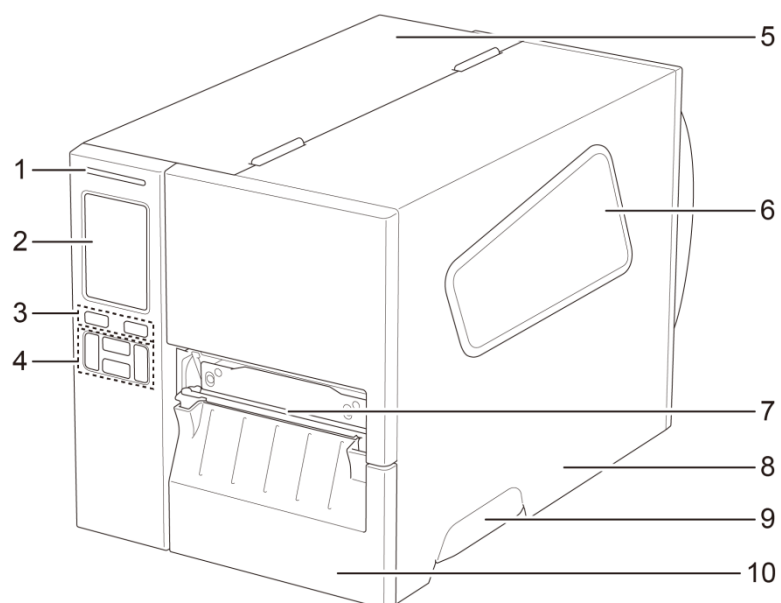
1. ラベルプリンター
 - a. TJ-4021TN/TJ-4121TN
 - b. TJ-4121TNR
2. 電源コード
3. USB ケーブル
4. 紙芯

もし部品がすべて揃っていない場合は、ブラザーコールセンターまたはお近くの販売店までご連絡ください。

2.2 各部の名称

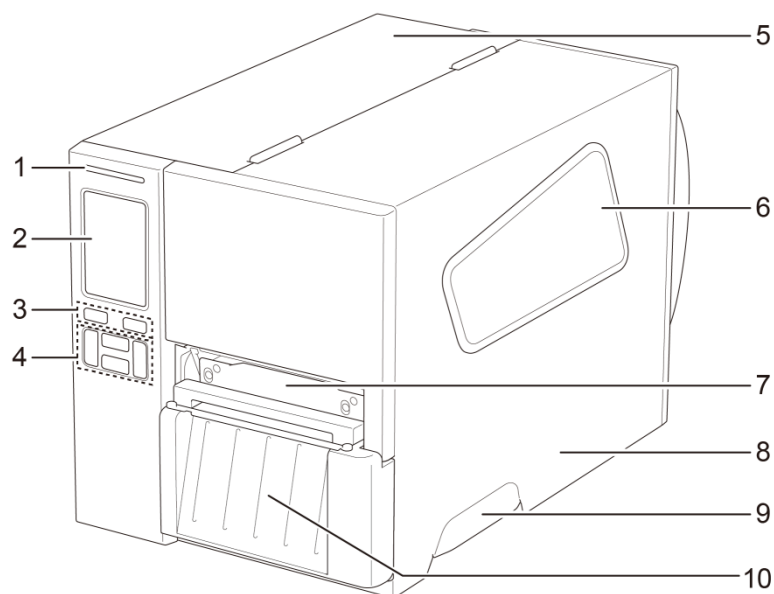
2.2.1 外観図

TJ-4021TN/TJ-4121TN



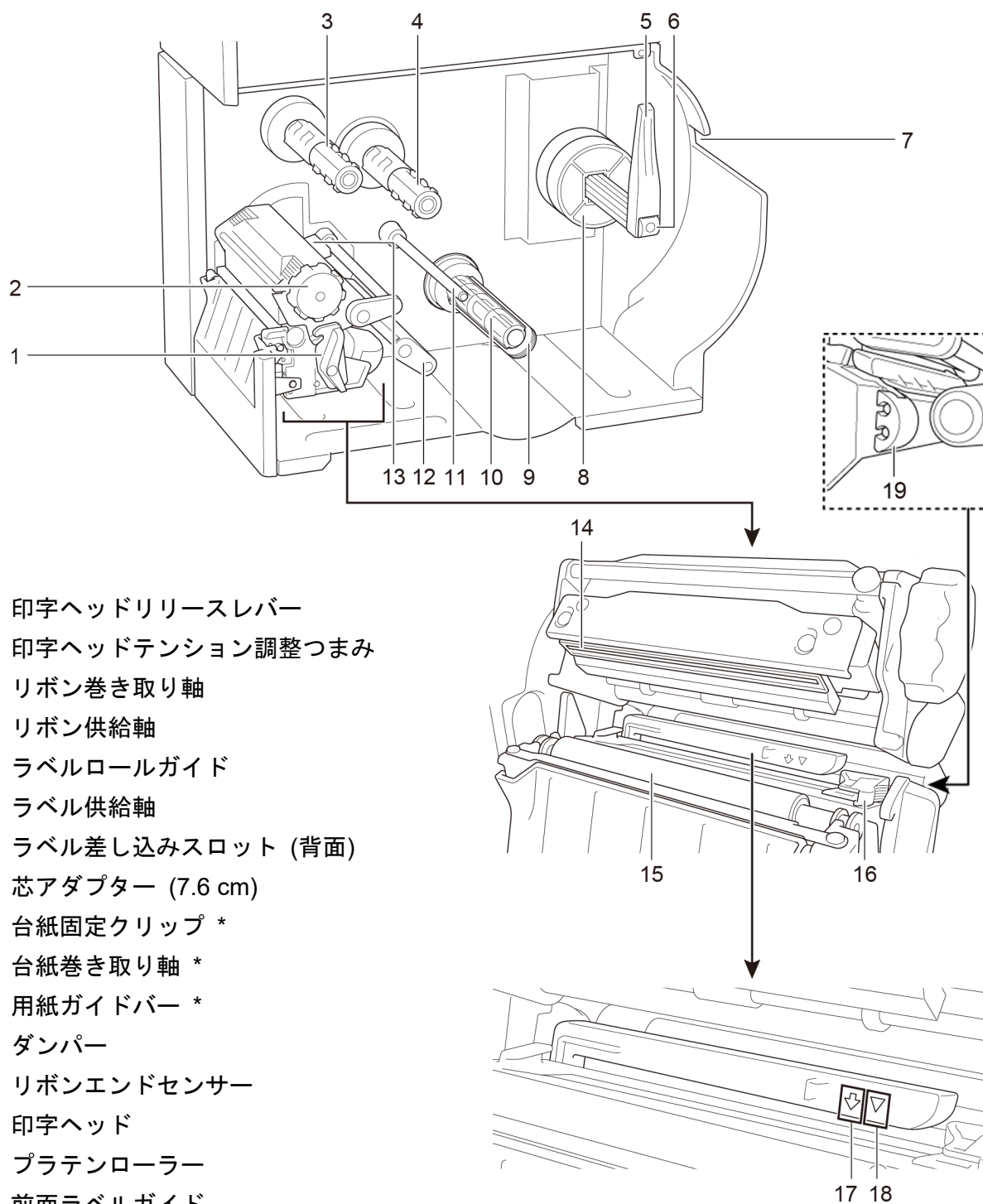
1. ステータス LED
2. タッチパネル
3. 選択ボタン
4. ナビゲーションボタン
5. 基板カバー
6. 用紙確認窓
7. 用紙出カスロット
8. 用紙カバー
9. 用紙カバーハンドル
10. フロントパネルベース

TJ-4121TNR



1. ステータス LED
2. タッチパネル
3. 選択ボタン
4. ナビゲーションボタン
5. 基板カバー
6. 用紙確認窓
7. 用紙出カスロット
8. 用紙カバー
9. 用紙カバーハンドル
10. RFID ティアカバー（RFID エンコーダーセンサー内蔵）

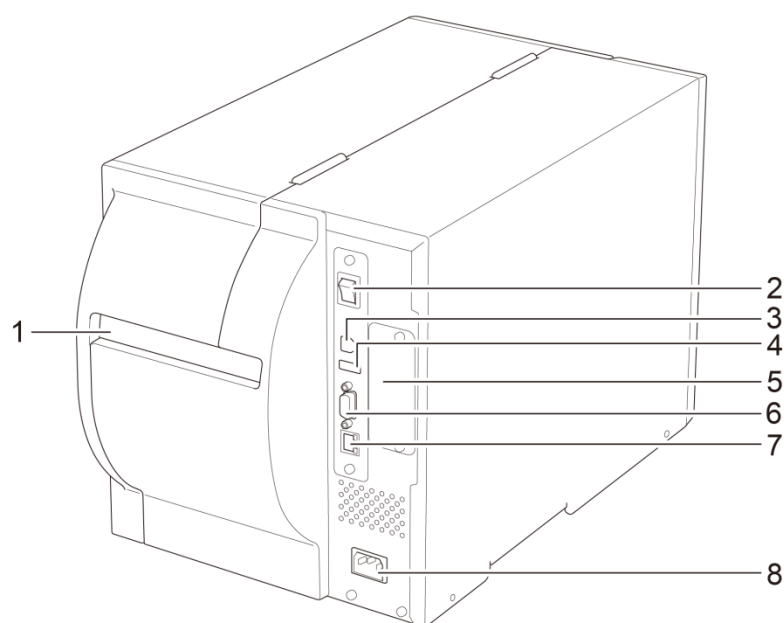
2.2.2 内面図



1. 印字ヘッドリリースレバー
2. 印字ヘッドテンション調整つまみ
3. リボン巻き取り軸
4. リボン供給軸
5. ラベルロールガイド
6. ラベル供給軸
7. ラベル差し込みスロット (背面)
8. 芯アダプター (7.6 cm)
9. 台紙固定クリップ *
10. 台紙巻き取り軸 *
11. 用紙ガイドバー *
12. ダンパー
13. リボンエンドセンサー
14. 印字ヘッド
15. プラテンローラー
16. 前面ラベルガイド
17. ブラックマークセンサー (▽ 表示)
18. ギャップセンサー (▽ 表示)
19. メディアセンサー位置調整つまみ

* ハクリユニット用のオプションの付属品。

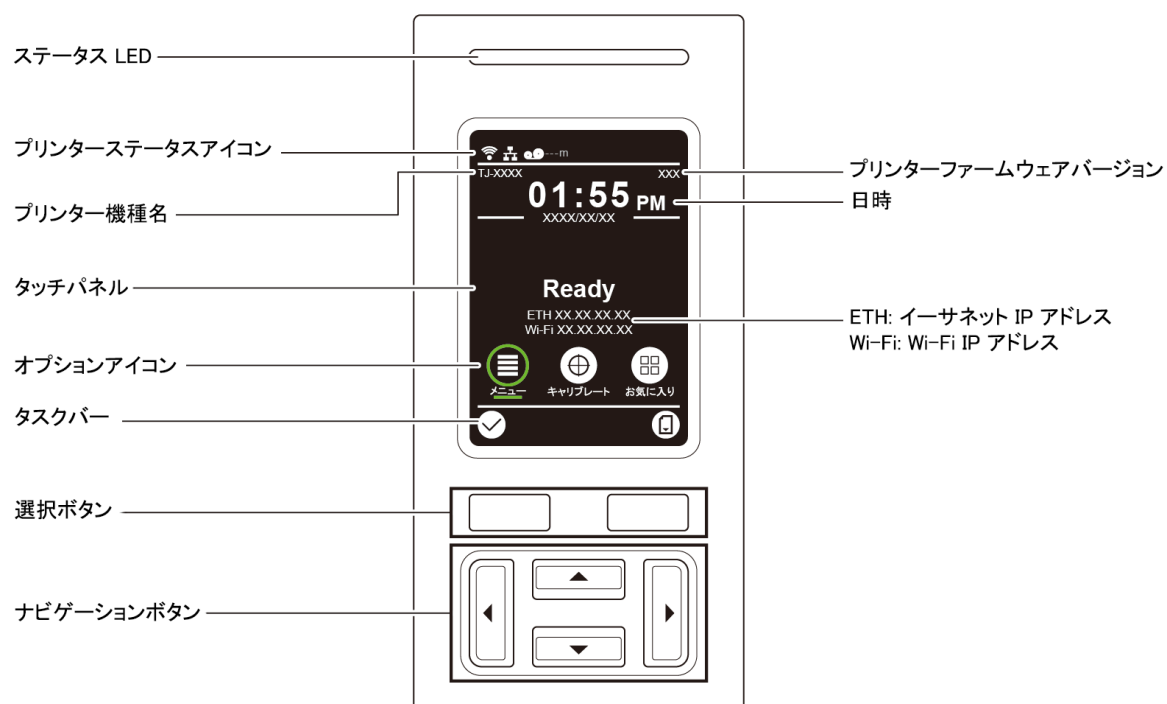
2.2.3 背面図



1. ラベル差し込みスロット (背面)
2. 電源スイッチ
3. USB ポート (USB 2.0/Hi-Speed モード)
4. USB ホストポート
5. 無線 LAN ユニット拡張スロット *
6. RS-232C シリアルポート
7. イーサネットポート
8. 電源コードソケット

* オプションの 無線 LAN ユニット (PA-WI-002) 用。

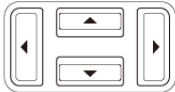
2.3 コントロールパネル



2.3.1 ステータス LED とボタン

電源ステータス LED (全モデル)

LED の色	説明
緑 (点灯)	電源がオン状態で、プリンターを使用する準備ができています。
緑 (点滅)	- コンピューターからデータをダウンロードしています。 - 一時休止しています。
黄色	メモリのデータを削除しています。
赤 (点灯)	印字ヘッドが開いているか、カッターエラーが生じました。
赤 (点滅)	印刷エラーが生じました (用紙切れ、用紙詰まり、リボン切れ、メモリエラーなど)。

ボタン	機能
選択ボタン 	アイコンやメニューを選択するときに使用します。
ナビゲーションボタン 	タッチパネル上で画面を移動するときや、アイコンやメニューを選択するときに使用します。

液晶ディスプレイを日本語表示に変更する方法

お買い上げ時の言語設定は、英語 (English) です。

言語を日本語に変更する場合は、以下の操作を行ってください。

1. 英語表示のメインメニューで **Advanced**  を選びます。
2. **Advanced**  を選択後、**Language** 設定を選びます。
3. **Language** 設定で日本語を選択し、 マークを押します。

2.3.2 ホーム画面のアイコン

プリンタステータスアイコン

アイコン	説明
	Wi-Fi 機器の準備ができました (無線 LAN ユニットがインストールされている場合に利用可能)
	イーサネットに接続しています
	リボン容量 (%)
	TPH クリーニング
	セキュリティロック

オプションアイコン

アイコン	機能
	メインメニューを表示します 詳細は、「 2.3.3 タッチパネルの概要 」をご覧ください。
	用紙をキャリブレーションします
	お気に入り画面を表示します 詳細は、「 2.3.3 タッチパネルの概要 」をご覧ください。

タスクバーのアイコン

アイコン	機能
	選択を確定します
	ラベルを一枚送ります

2.3.3 タッチパネルの概要

プリンターの機能にアクセスする場合や、設定を変更する場合は、該当するアイコンをタップします。



メインメニューを表示する

プリンターのタッチパネルに「Ready」と表示されていることを確認します。表示されていない場合は、メニューアイコン (☰) をタップします。



📝 お問い合わせ

コントロールパネルボタンを使用することもできます。ナビゲーションボタンを使用して、メニューアイコンを選択し、 アイコンの下を選択ボタンを押します。

メインメニューでオプションを選択するには、オプションのアイコンをタップします。



お願い

コントロールパネルボタンを使用することもできます。ナビゲーションボタンを使用して、オプションを表示し、 アイコンの下ボタンを押します。前の画面に戻る場合は、 アイコンの下ボタンを押します。

メインメニューの概要

メインメニューのオプションを使用すれば、プリンターをパソコンに接続せずに、印刷設定を行うことができます。

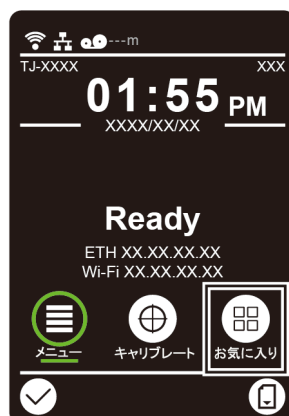
アイコン	オプション	説明
	設定	プリンターの FBPL および ZPL2 設定を行います。
	センサー調整	選択したメディアセンサーのキャリブレーションを行います。用紙を変更するたびにセンサーのキャリブレーションをすることをお勧めします。
	インターフェイス	プリンターのインターフェイス設定を行います。
	詳細設定	プリンターのタッチパネル、初期化、カッタータイプの設定、を行います。
	ファイル管理	使用可能なプリンターのメモリを確認・管理します。
	プリンタ診断	問題解決に役立つため、プリンターのステータスを確認します。

お願い

印刷設定の詳細については、「[7. タッチパネルを使用して印刷設定を変更する](#)」をご覧ください。

お気に入り

よく使用するメインメニューのオプションをお気に入りに追加すれば、すぐにアクセスできます。お気に入りリストを表示するには、お気に入りアイコン  をタップします。



オプションをお気に入りリストに追加する方法：

1. 「お気に入りに追加」と表示されるまで、追加したいオプションを長押しします。
2. 「はい」をタップします。



オプションをお気に入りリストから削除する方法：

1. 「お気に入りから削除」と表示されるまで、削除したいオプションを長押しします。

2. 「はい」をタップします。



3. プリンターをセットアップする

3.1 電源コードを接続する

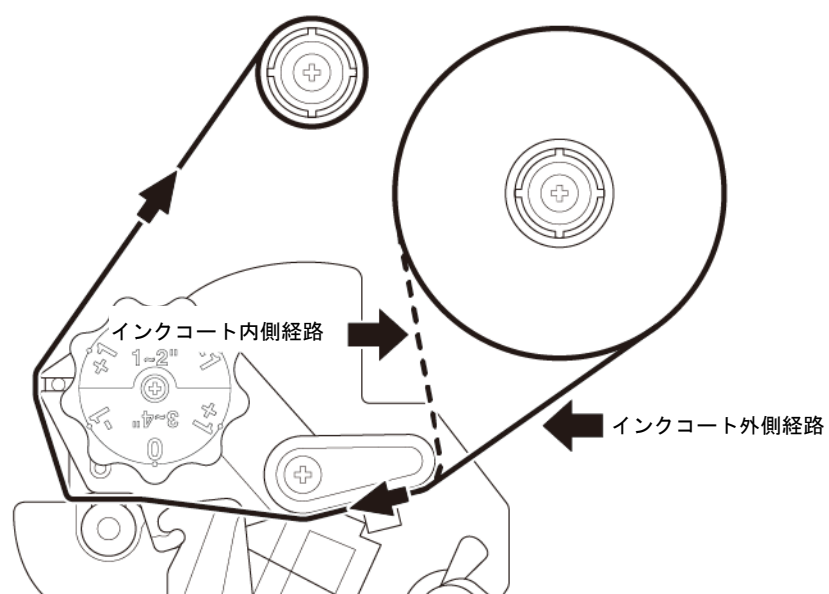
1. プリンターを安定した平らな場所に置いてください。
2. プリンターの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 電源コードをプリンター背面の電源コードソケットに差し込み、電源コードを接地された電源コンセント（接地された電源プラグ）に差し込みます。

お願い

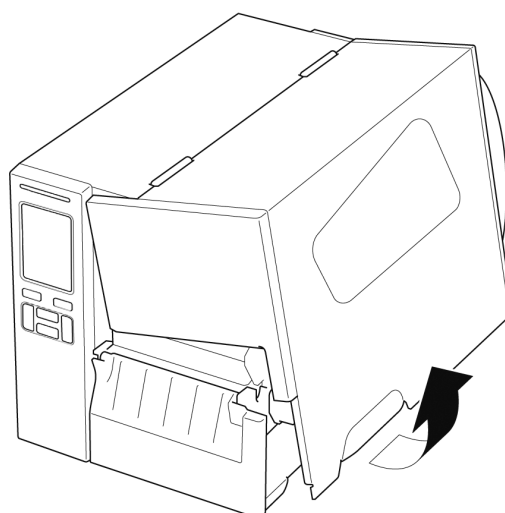
- プリンターの電源コードソケットに電源コードを差し込む前に、プリンターの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
 - プリンターの電源を入れると、最初の印刷ジョブを受信するまでプリンターの LED が点滅します。
-

3.2 リボンをセットする

リボンのセット経路

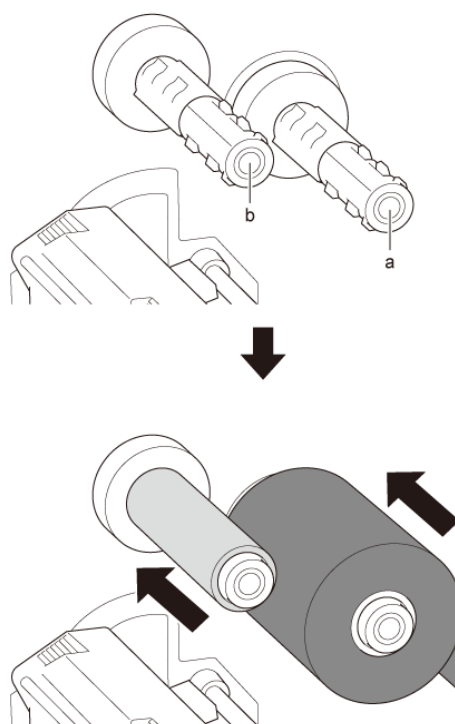


1. 用紙カバーを開けます。

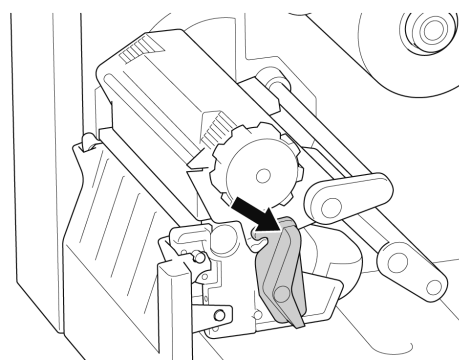


2.

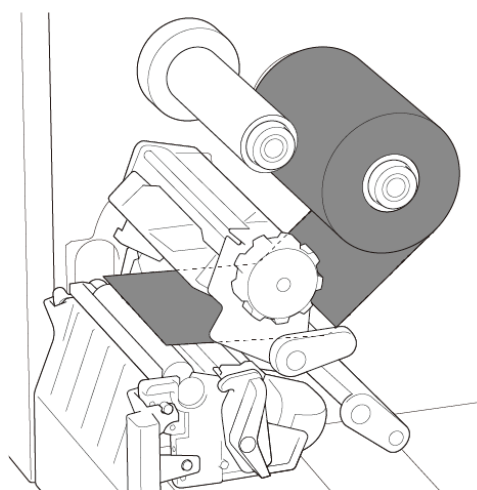
- a. リボン供給軸にリボンをセットします。
- b. リボン巻き取り軸に紙芯をセットします。



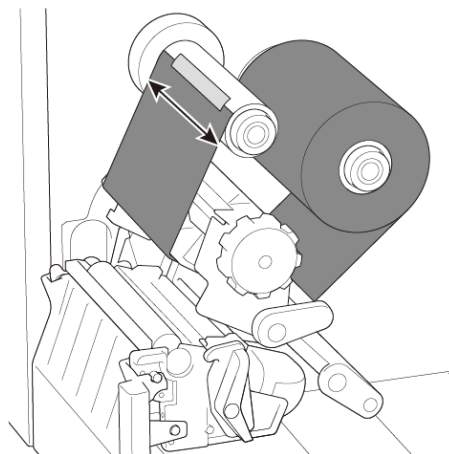
3. 印字ヘッドリリースレバーを押して、印字ヘッドを開きます。



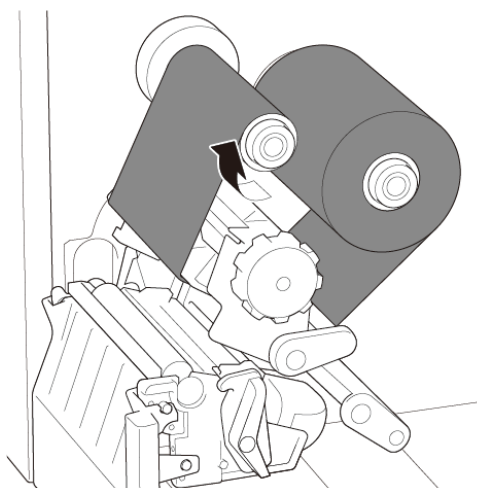
4. リボンをリボンガイドバーの下に通し、用紙カバーに印刷されているセット経路に沿ってリボンセンサーズロットに通します。



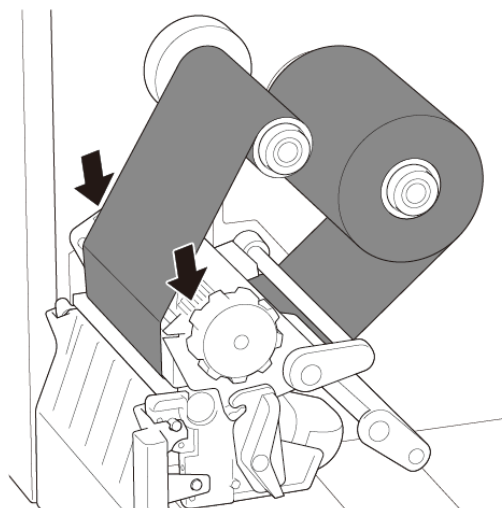
5. リボンの先端をリボン巻き取り軸にセットされた紙芯に固定し、リボンを平らで、シワのない状態にします。



6. リボン巻き取り軸を時計回りに約 3~5 回転させ、リボンが滑らかに平らで、シワのない状態になるまで巻きます。

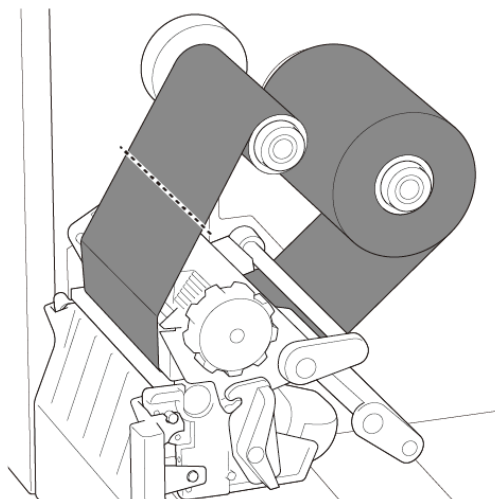


7. 印字ヘッドリリースレバーの両側を押し下げ、印字ヘッドを閉じます。



3.3 使用済みリボンを取り除く

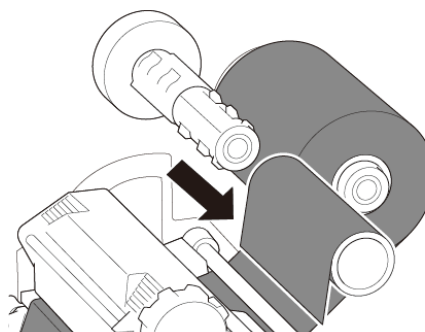
1. 使用済みリボンを点線に沿ってハサミで切ります。



2. リボン巻き取り軸からリボンを取り除きます。

お願い

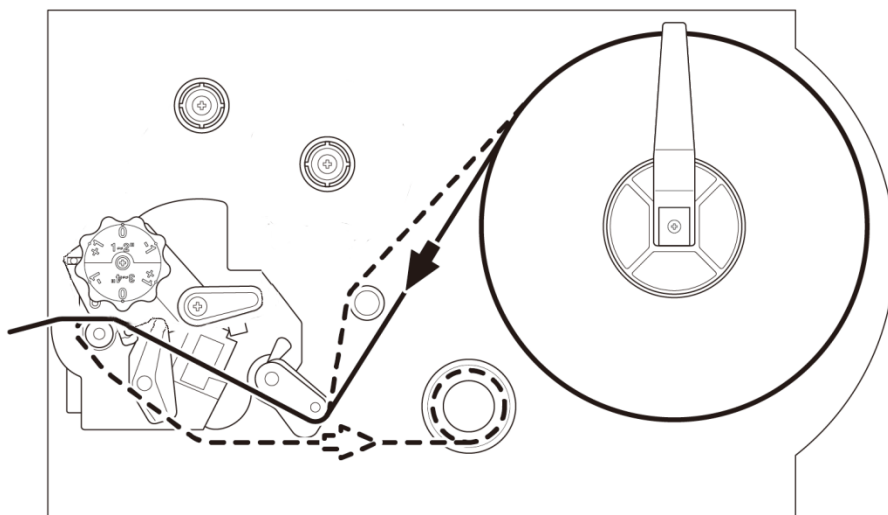
使用済みリボンに印字した内容が残っている場合は、リボンをはさみで切るなどして破棄することをお勧めします。



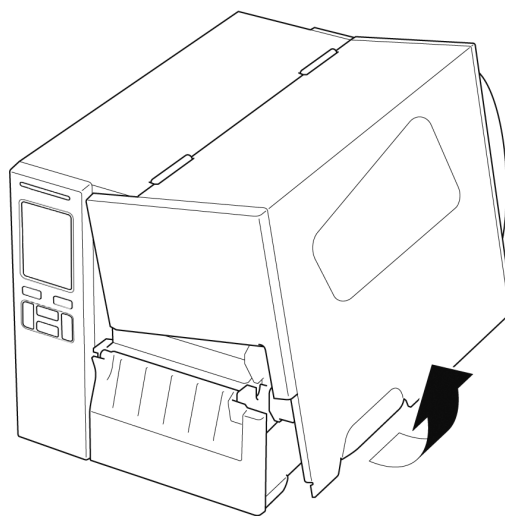
3.4 用紙をセットする

3.4.1 ラベルロールをセットする

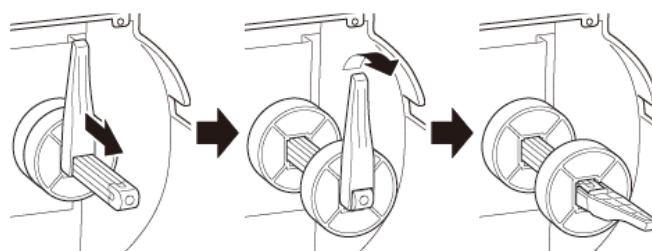
ラベルロールのセット経路



1. 用紙カバーを開けます。



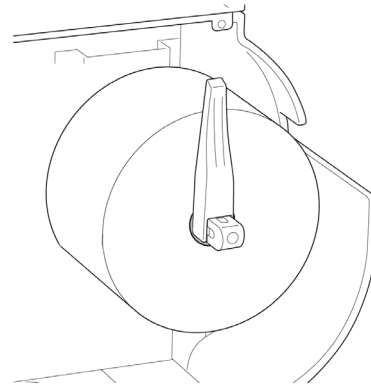
2. ラベルロールガイドを横方向にスライドし、ラベル供給軸の先端で横に倒します。



 お願い

芯サイズが3インチ未満の場合、芯アダプターをラベル供給軸から抜き取りラベルロールをセットしてください。芯サイズが3インチのラベルロールを使用する場合、芯アダプターを取り付けた状態でラベルロールをセットしてください。芯アダプターはラベルロール芯の両端に寄せてください。

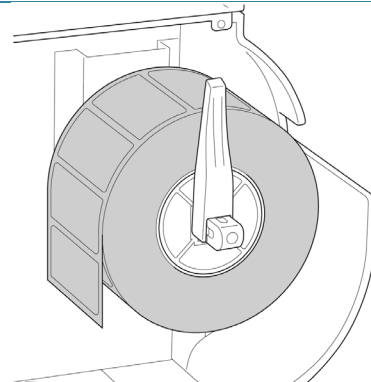
(芯サイズが1インチのロールセット時)



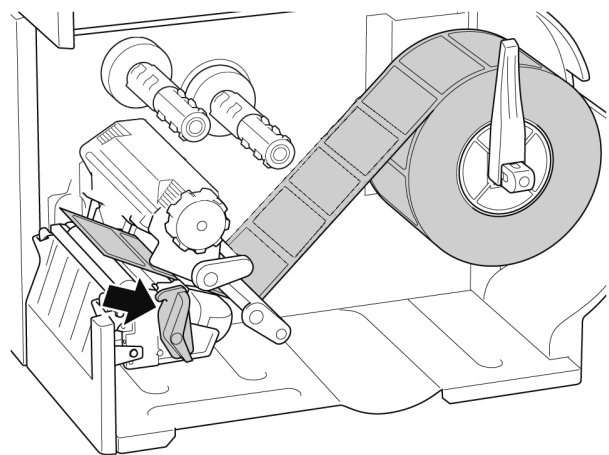
3. ラベルロールをラベル供給軸にセットし、ラベルロールガイドを上に起こしてしっかりと押さえます。

 お願い

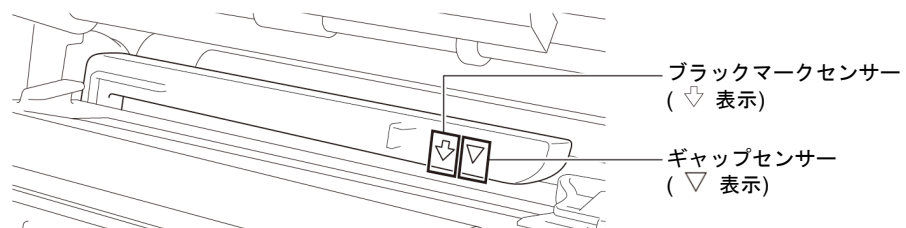
必ずラベル印刷面を上にしてください。



4. 印字ヘッドリリースレバーを押し、ラベル用紙をダンパー、メディアセンサー、前面ラベルガイドに通してセットします。



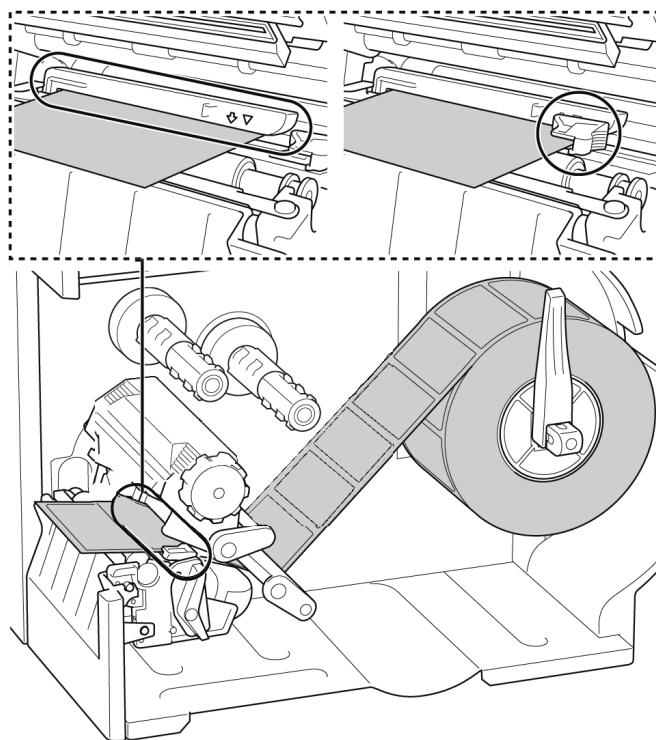
5. メディアセンサー位置調整つまみを調整して、メディアセンサーを移動させます。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



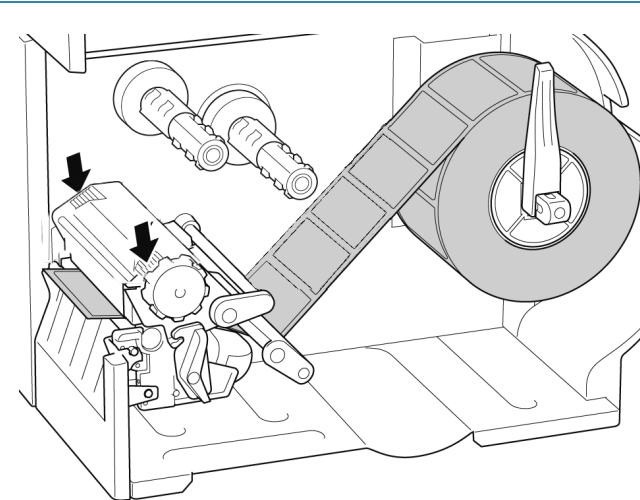
6. 前面ラベルガイドを調整し、用紙の位置を固定します。

 お願い

- 用紙がメディアセンサーを通っているか確認してください。
- 各センサーの位置は、センサーカバーに三角 ▽ (ギャップセンサー) と矢印 ⇩ (ブラックマークセンサー) で示されています。
- メディアセンサーの位置は調整可能です。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。

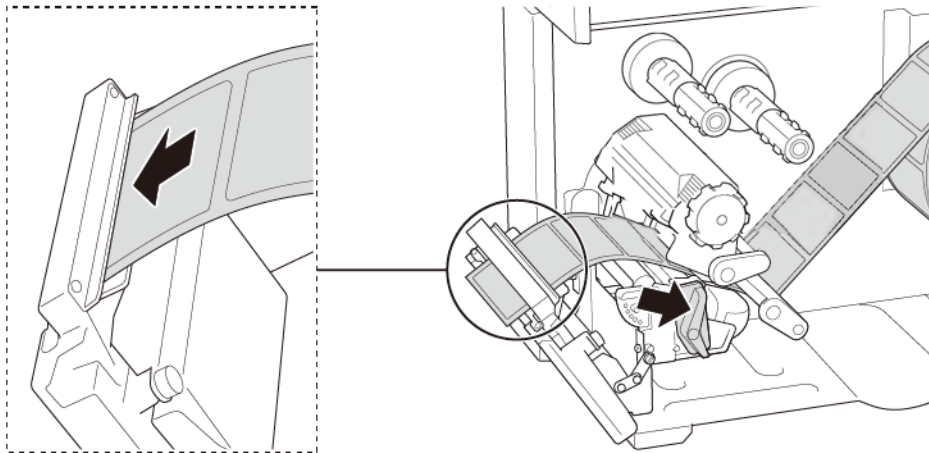


7. 印字ヘッドの両側を押さえて閉じ、ロックされていることを確認します。
8. メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションを行います。



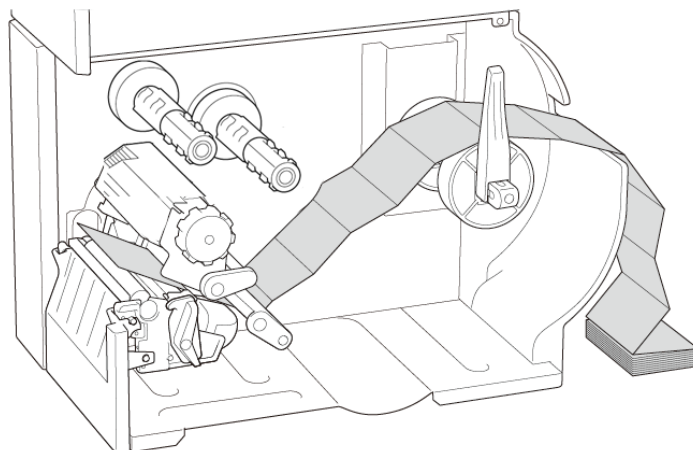
 お願い

RFID モデル (TJ-4121TNR) では、用紙が RFID ティアカバー（エンコーダーセンサー内蔵）のスロットを通して送られます。

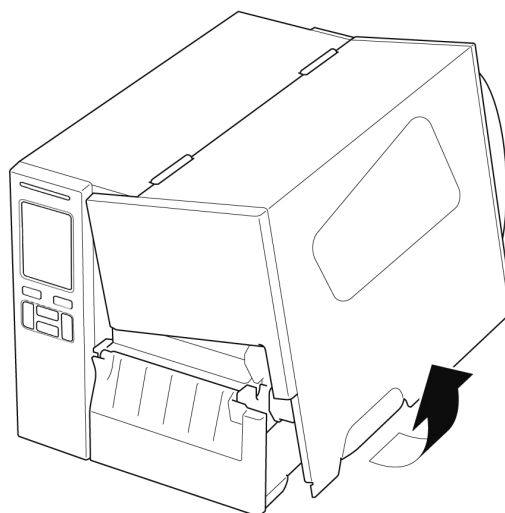


3.4.2 外付け用紙をセットする

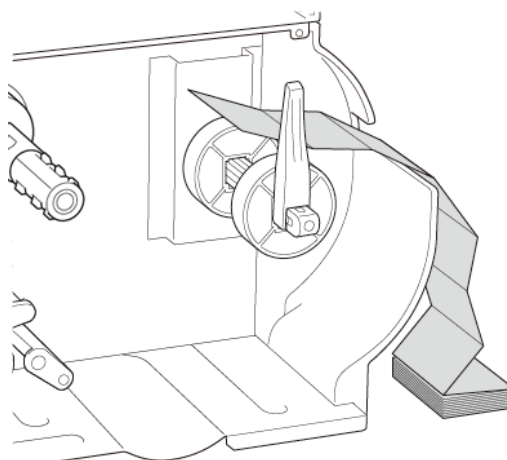
ファンフォールドラベルのセット経路



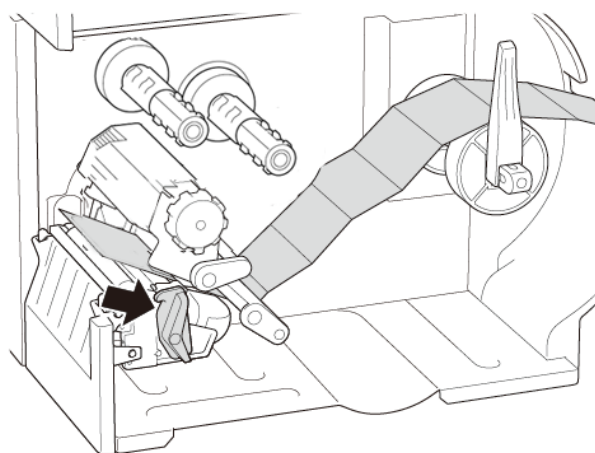
1. 用紙カバーを開けます。



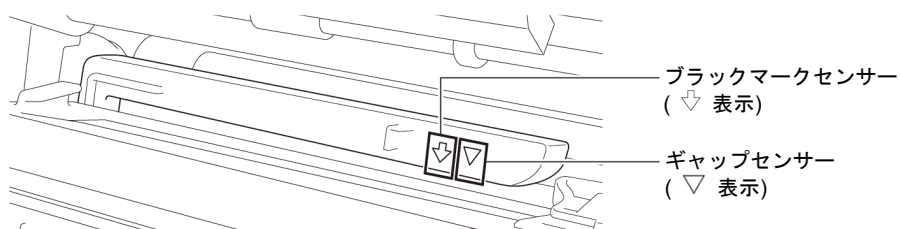
2. ラベル差し込みスロット (背面) を通して用紙を挿入します。



3. 印字ヘッドリリースレバーを押し、ラベル用紙をダンパー、メディアセンサー、前面ラベルガイドに通してセットします。ラベルロールガイドをラベル幅に合わせます。



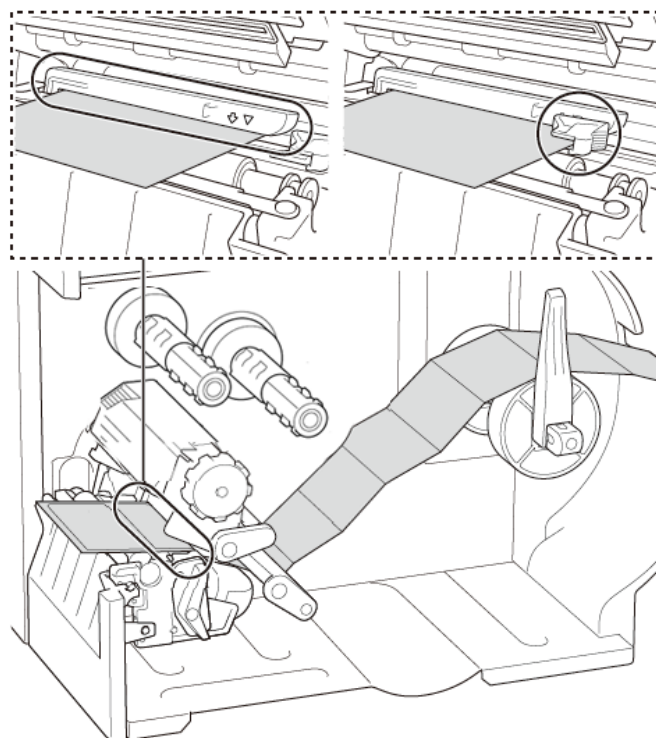
4. メディアセンサー位置調整つまみを調整して、メディアセンサーを移動させます。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



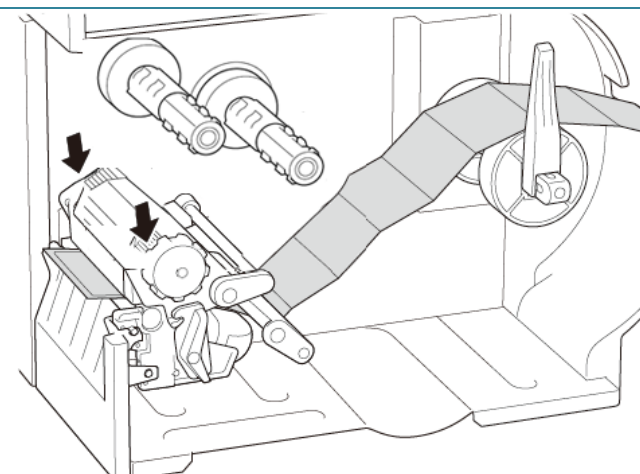
5. 前面ラベルガイドを調整し、用紙の位置を固定します。

 お願い

- 用紙がメディアセンサーを通っているか確認してください。
- 各センサーの位置は、センサーカバーに三角 ▽ (ギャップセンサー) と矢印 ⇩ (ブラックマークセンサー) で示されています。
- メディアセンサーの位置は調整可能です。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



6. 印字ヘッドの両側を閉じ、ロックされていることを確認します。
7. メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションを行います。



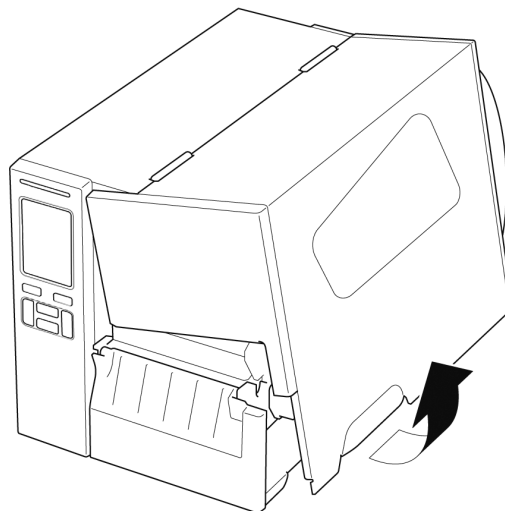
 お願い

- 用紙を変更するたびにギャップ/ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行ってください。
- センサーキャリブレーションの詳細については、「[8.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う](#)」、「[8.2.1 LCD を使用しての用紙の自動キャリブレーション](#)」をご覧ください。

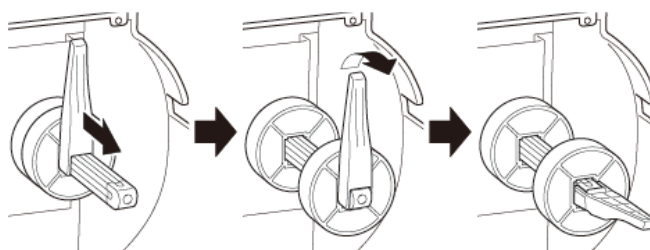
3.4.3 ハクリモードで用紙をセットする (オプション)

※ユーザー着脱不可のため、ご要望の際はブラザーコールセンターへお問い合わせください。

1. 用紙カバーを開けます。



2. ラベルロールガイドを横方向にスライドし、ラベル供給軸の先端で横に倒します。

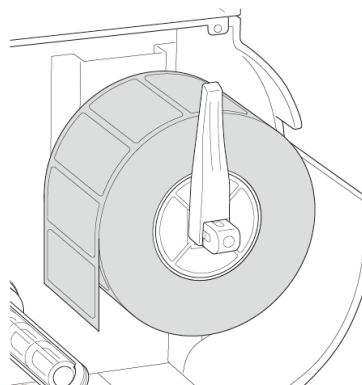


3. ラベルロールをラベル供給軸にセットし、ラベルロールガイドを上を起こしてしっかりと押さえます。

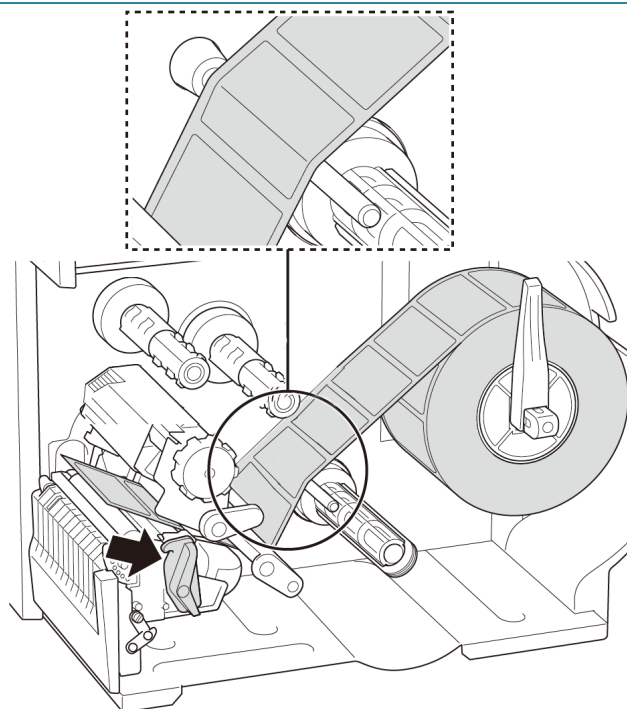


お願い

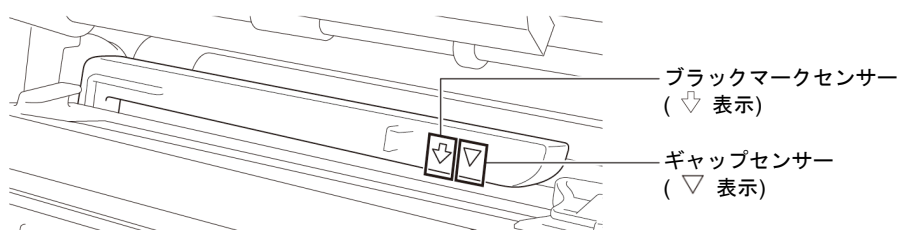
必ずラベル印刷面を上にしてください。



4. 印字ヘッドリリースレバーを押し、ラベルをダンパー、メディアセンサー、前面ラベルガイドに通してセットします。



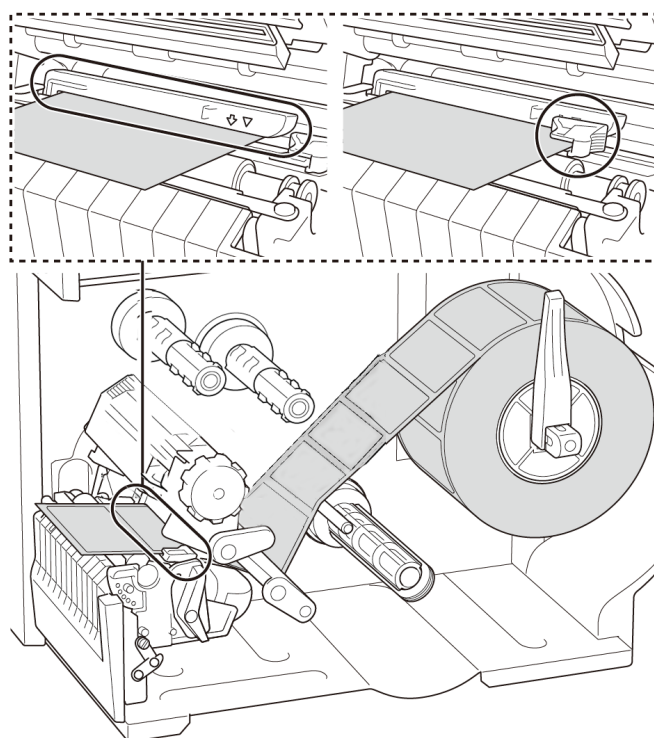
5. メディアセンサー位置調整つまみを調整して、メディアセンサーを移動させます。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



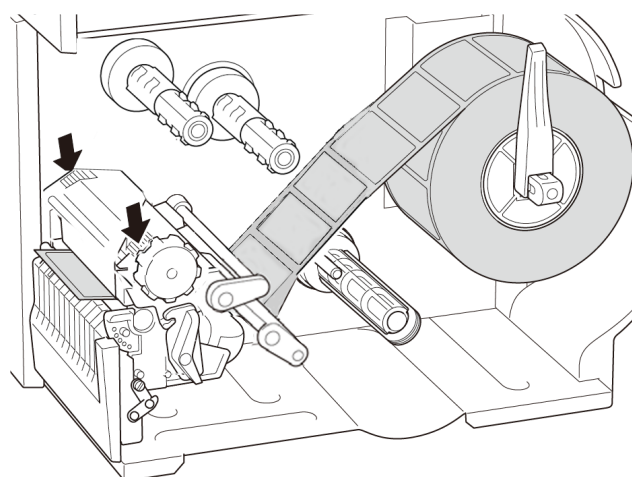
6. 前面ラベルガイドを調整し、用紙の位置を固定します。

 お願い

- 用紙がメディアセンサーを通っているか確認してください。
- 各センサーの位置は、センサーカバーに三角 ▽ (ギャップセンサー) と矢印 ⇓ (ブラックマークセンサー) で示されています。
- メディアセンサーの位置は調整可能です。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



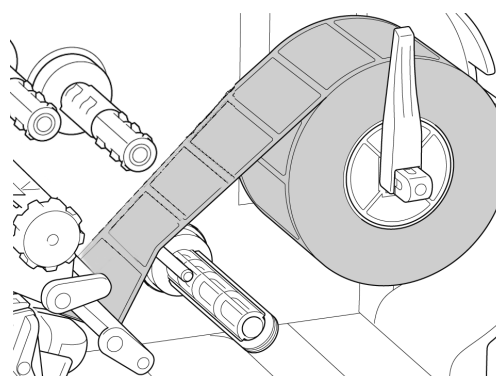
7. 印字ヘッドの両側を閉じ、ロックされていることを確認します。
8. メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションを行います。



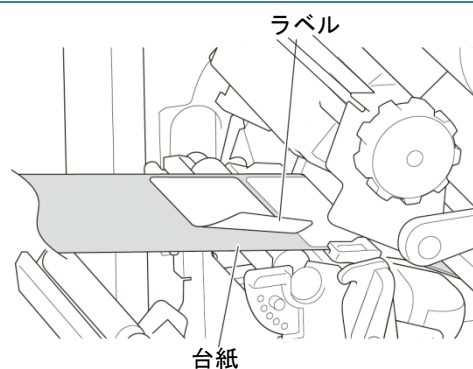
9. タッチパネルを使用して、キャリブレーションを実行してから、印刷方式をハクリモードに設定します。
センサーキャリブレーションの詳細については、「[8.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う](#)」をご覧ください。

お願い

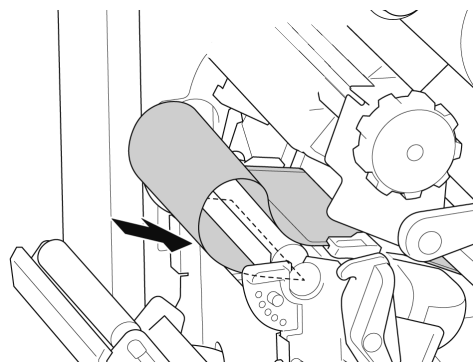
1. 用紙詰まりを避けるため、ハクリモードで用紙をセットする前に、ギャップ/ブラックマークセンサーのキャリブレーションを実行してください。
2. 図のように、ラベルがメディアガイドバーの上、ダンパーの下を通るようにセットしてください。



10. 印字ヘッドリリースレバーを回し、用紙出力スロットからラベルロールを約 650 mm 引き出します。
11. ラベルを数枚剥がして、台紙だけを残します。



12. 台紙をハクリユニットカバースロットに通します。

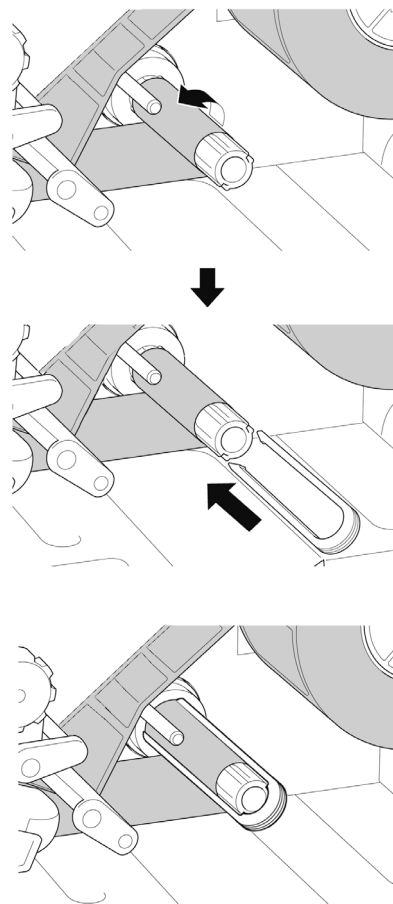
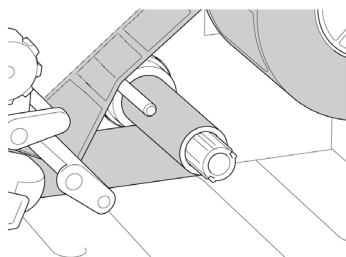


13. 台紙巻き取り軸から台紙固定クリップを引き出し、台紙が完全に張るまで、台紙巻き取り軸に台紙を巻き付けます。
14. 台紙固定クリップを台紙巻き取り軸内に差し込みます。



お願い

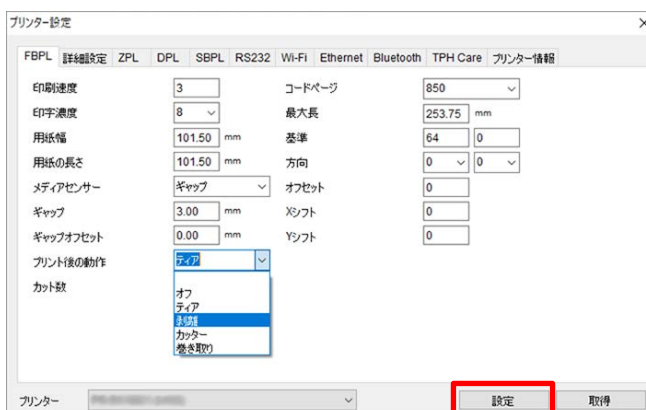
台紙巻き取り軸に紙芯をセットし、紙芯の周りに台紙を巻き付けることもできます。



15. メインメニューから印刷方式を「ハクリモード」に設定します (メインメニュー > 設定 > 印刷方式 > ハクリモード)。もしくは、Brother Printer Management Tool (BPM) を使用して、次の手順に従って印刷方式を「剥離。」に設定します。

- BPM を実行します。
- プリンター設定ボタンをクリックします。
- FBPL タブをクリックします。
- プリント後の動作ドロップダウンリストから剥離をクリックします。
- 設定をクリックします。

BPM での設定画面



ドライバーの場合は次の手順に従って設定します。

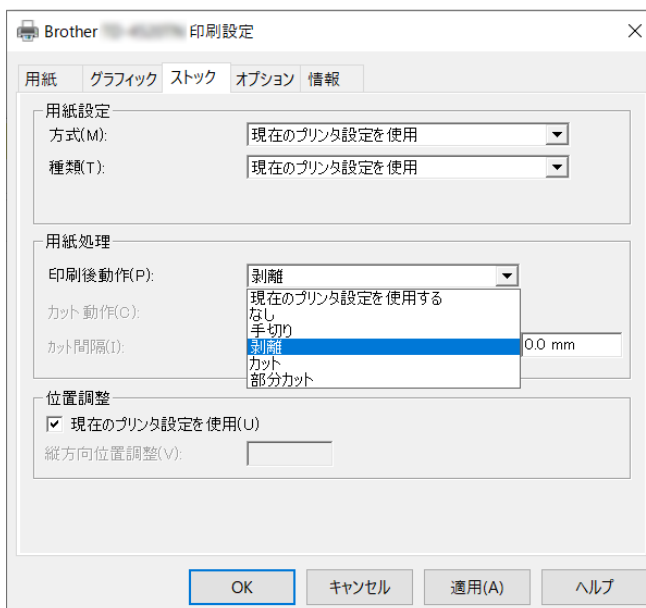
1. デバイスとプリンターを開きます。
2. 設定を変更したいプリンターを右クリックし、印刷設定を選択します。
3. スtockタブをクリックし、用紙処理 > 印刷後動作のドロップダウンリストから剥離を選択します。
4. 適用ボタン、OK ボタンをクリックします。



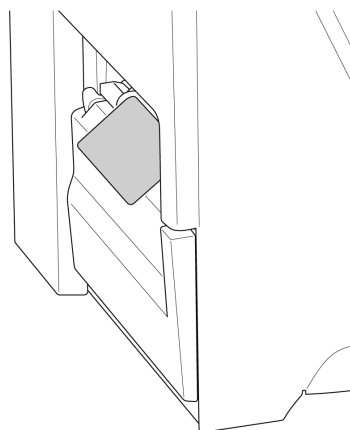
お願い

「現在のプリンタ設定を使用」以外のモードを選択した場合、ドライバー印刷時に本体設定が上書きされます。

ドライバーでの設定画面

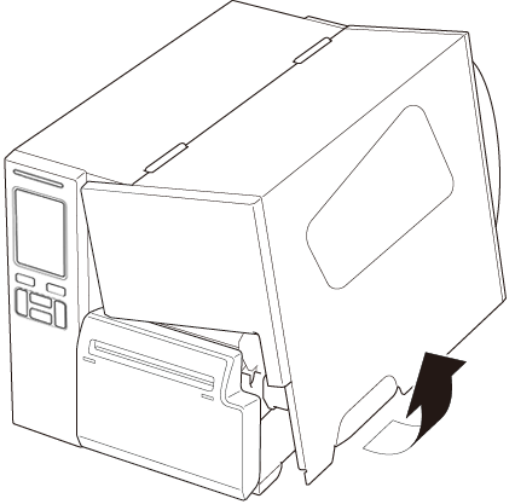
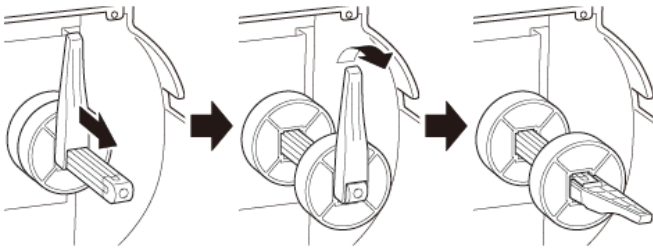
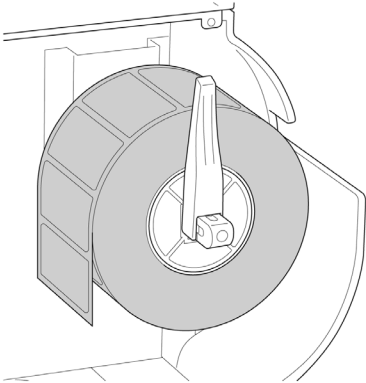


16. 印字ヘッドリリースレバーをロックし、ラベルを一枚送ってテストします。
- メインメニューのフィードアイコンをタップします。

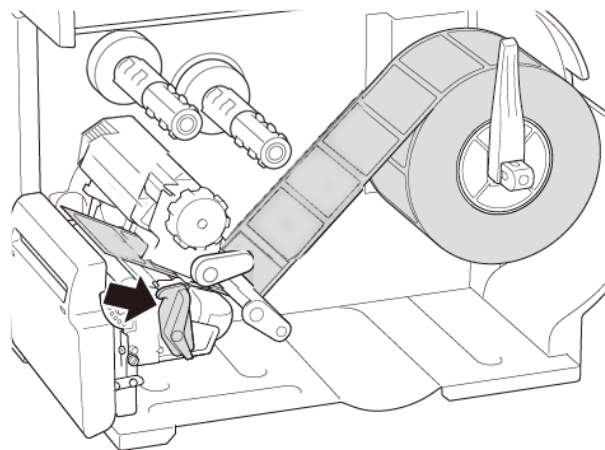


3.4.4 カッターモードで用紙をセットする (オプション)

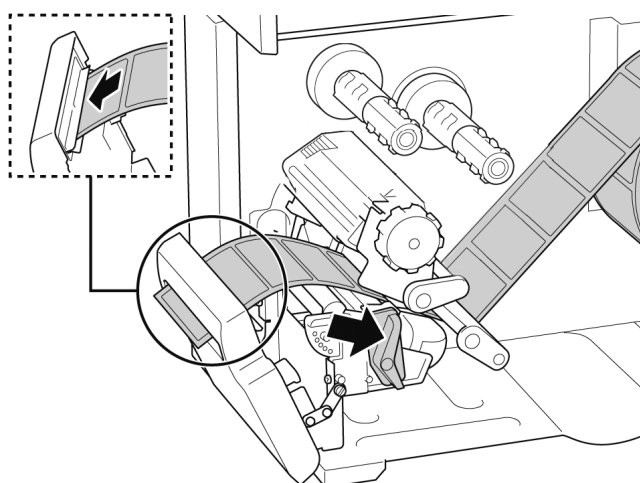
※ユーザー着脱不可のため、ご要望の際はブラザーコールセンターへお問い合わせください。

1. 用紙カバーを開けます。	
2. ラベルロールガイドを横方向にスライドし、ラベル供給軸の先端で横に倒します。	
3. ラベルロールをラベル供給軸にセットし、ラベルロールガイドを上を起こしてしっかりと押さえます。  お願い 必ずラベル印刷面を上にしてください。	

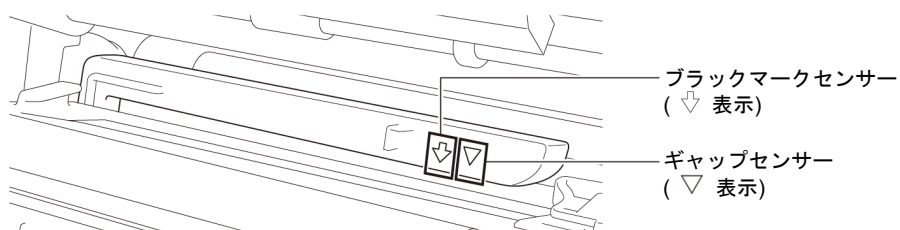
4. 印字ヘッドリリースレバーを押し、ラベル用紙をダンパー、メディアセンサー、前面ラベルガイドに通してセットします。



5. 用紙をラベルカッターカバー スロットに通します。



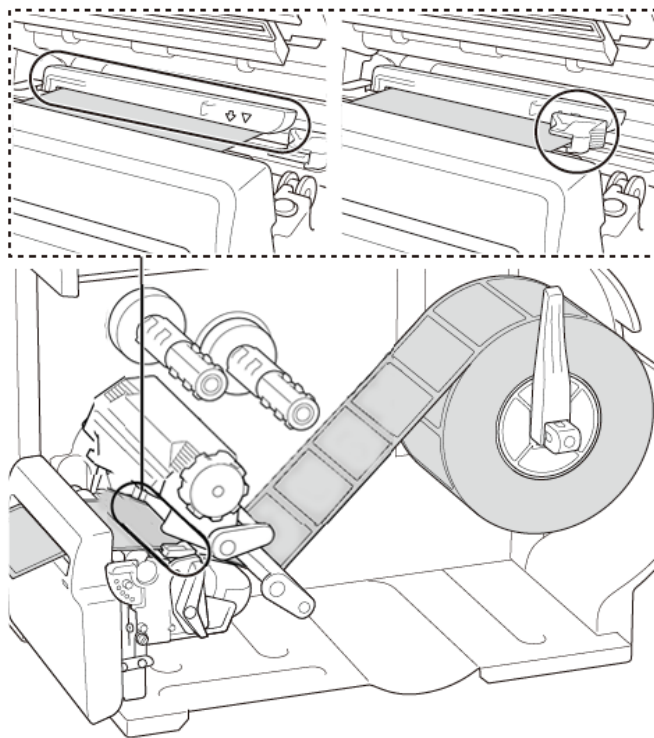
6. メディアセンサー位置調整つまみを調整して、メディアセンサーを移動させます。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



7. 前面ラベルガイドを調整し、用紙の位置を固定します。

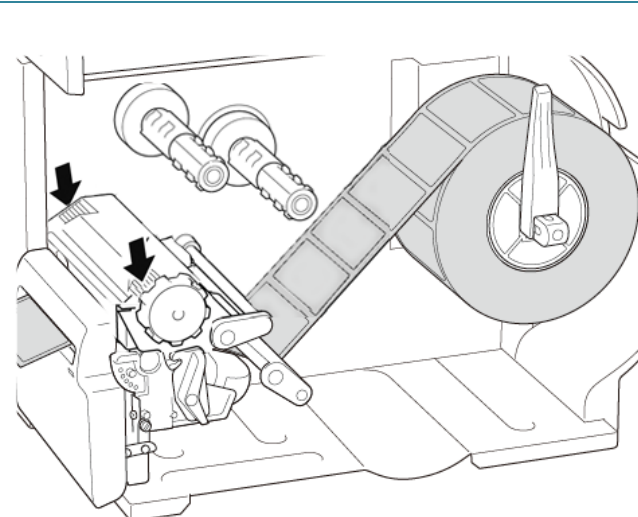
 お願い

- 用紙がメディアセンサーを通っているか確認してください。
- 各センサーの位置は、センサーカバーに三角 ▽ (ギャップセンサー) と矢印 ⇨ (ブラックマークセンサー) で示されています。
- メディアセンサーの位置は調整可能です。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。



8. 印字ヘッドの両側を押さえて閉じ、ロックされていることを確認します。
9. メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションを行います。
10. タッチパネルを使用して、キャリブレーションを実行してから、印刷方式をカッターモードに設定します。

センサーキャリブレーションの詳細については、「[8.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う](#)」をご覧ください。

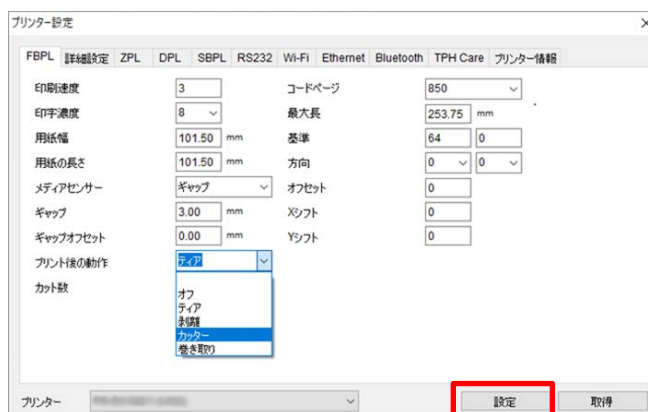


11. メインメニューから印刷方式を「カッターモード」に設定します (メインメニュー > 設定 > 印刷方式 > オートカッター)。

もしくは、Brother Printer Management Tool (BPM) を使用して、次の手順に従って印刷方式を「カッターモード」に設定します。

- BPM を実行します。
- プリンター設定ボタンをクリックします。
- FBPL タブをクリックします。
- プリント後の動作ドロップダウンリストからカッターをクリックします。
- 設定をクリックします。

BPM での設定画面



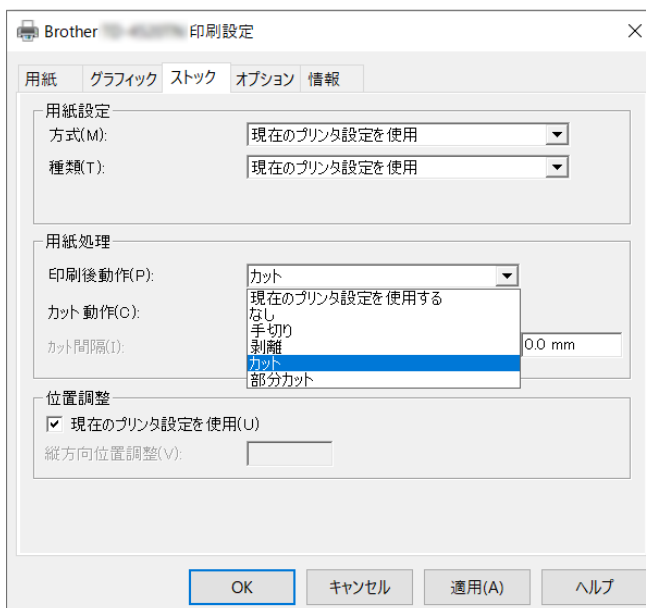
ドライバーの場合は次の手順に従って設定します。

1. デバイスとプリンターを開きます。
2. 設定を変更したいプリンターを右クリックし、印刷設定を選択します。
3. スtockタブをクリックし、用紙処理 > 印刷後動作のドロップダウンリストからカットを選択します。
4. 適用ボタン、OK ボタンをクリックします。

お願い

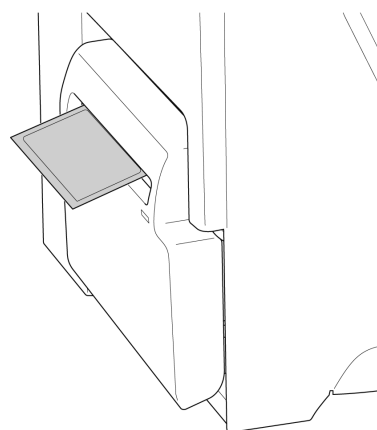
「現在のプリンタ設定を使用」以外のモードを選択した場合、ドライバー印刷時に本体設定が上書きされます。

ドライバーでの設定画面



12. 印字ヘッドを閉じ、ラベルを一枚送ってテストします。

- メインメニューのフィードアイコンをタップします。



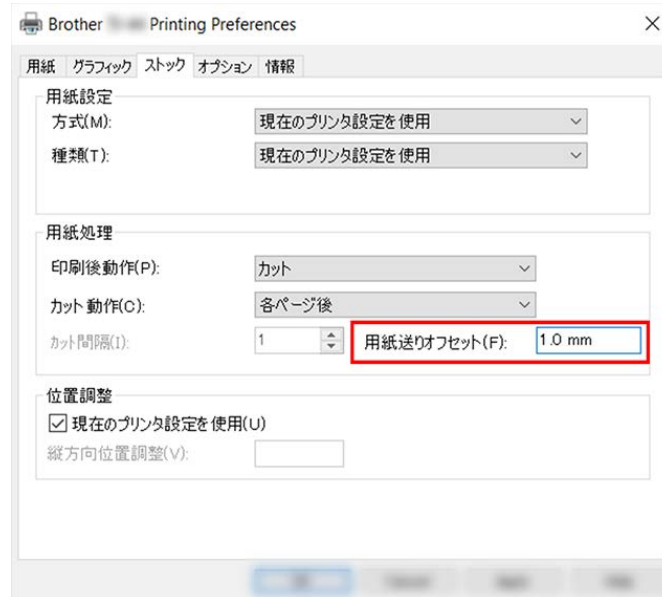
お願い

カット位置の調整方法 (Windows の場合)

プリンタードライバーを使用する方法

1. プリンターのフォルダーを開きます。
詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページで「デバイスとプリンター ウィンドウの開き方」をご覧ください。
2. 設定を変更するプリンターを右クリックし、印刷設定を選択します。
3. Stockタブを選択します。

4. 用紙送りオフセット(F) のフィールドに正または負の値 (「1.0 mm」や「-1.0 mm」など) を入力し、カット位置を微調整します。



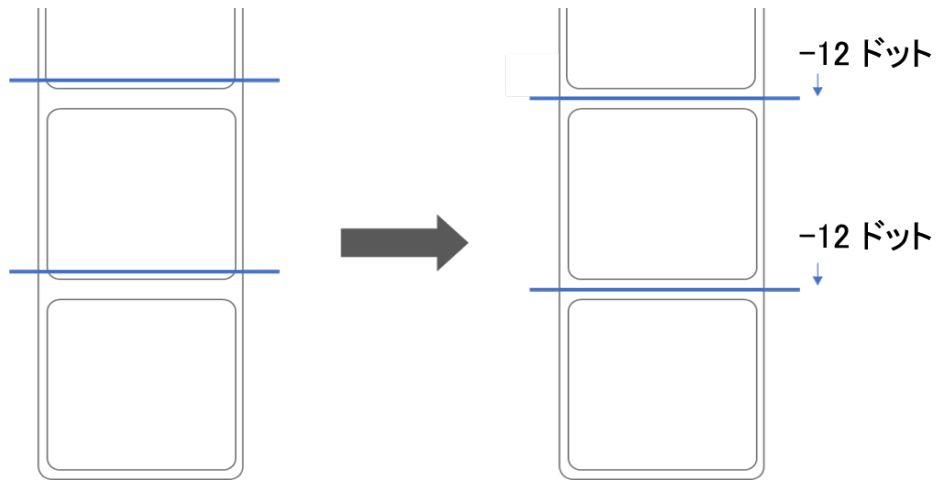
5. 適用、OK の順にクリックし、設定を適用します。
6. カット位置を確認するため、テスト印刷します。

BPM (Brother Printer Management Tool) を使用する方法

1. USB ケーブルを使用してお使いのプリンターをパソコンに接続します。
 2. **BPM** を実行します。
 3. **プリンター設定** をクリックし、**FBPL** タブを選択します。
 4. **オフセット** のフィールドに正または負の値 (「12」ドットや「-12」ドットなど) を入力し、カット位置を微調整します。
- 999～999 ドットの間の値を設定できます。

200 dpi プリンターの場合 : 1 mm = 8 ドット
300 dpi プリンターの場合 : 1 mm = 12 ドット



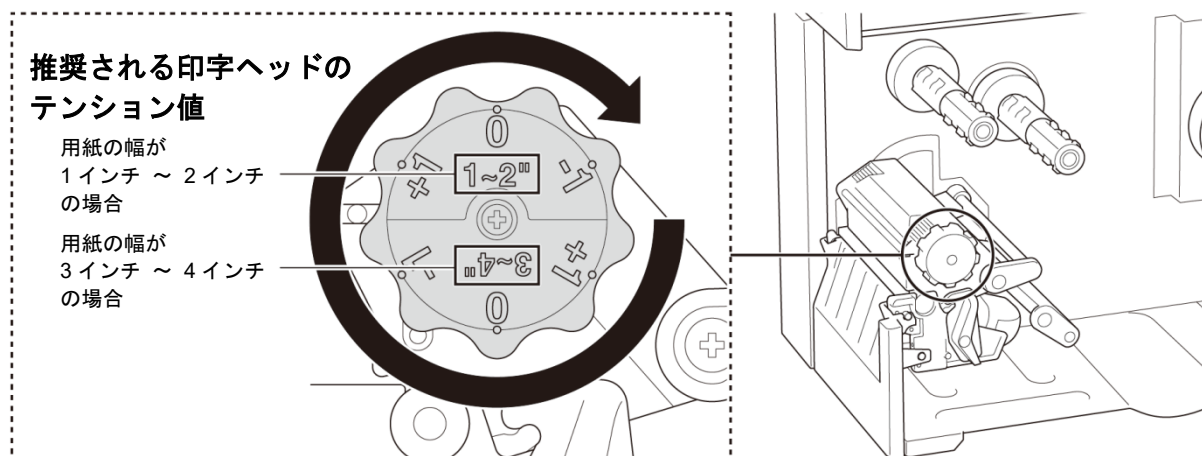


(カット位置は、使用するプリンターと用紙によって調整できます。)

5. 設定をクリックして設定を適用します。
 6. カット位置を確認するため、テスト印刷します。
-

4. 印刷品質を向上する

4.1 印字ヘッドのテンションを調整して印刷品質を向上する



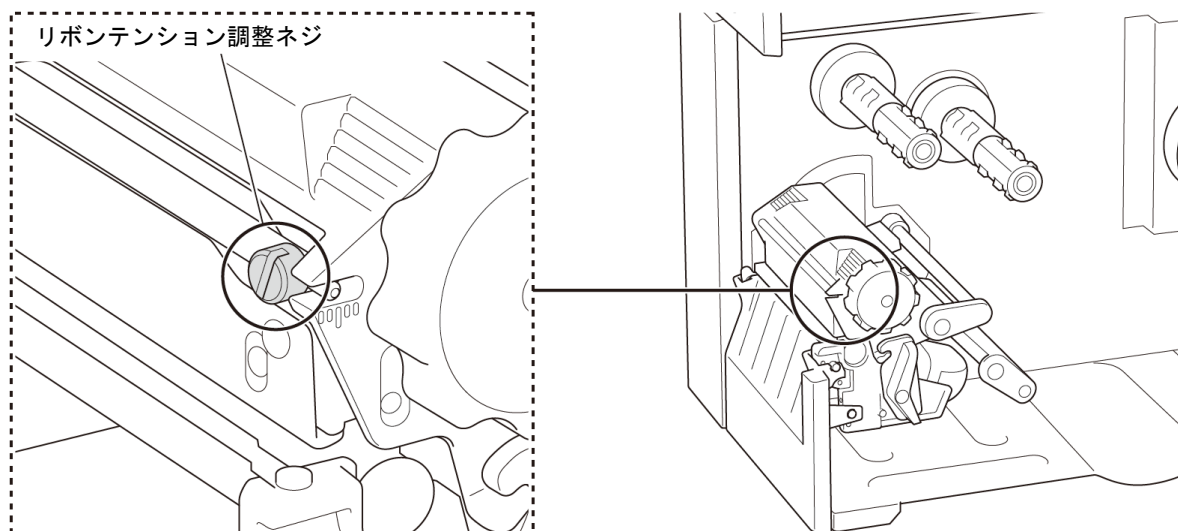
最高の印刷品質を得るために、印字ヘッドテンション調整つまみを使用して、印字ヘッドを調整します。お使いの用紙の幅 (1 インチ ~ 2 インチまたは 3 インチ ~ 4 インチ) に応じて、テンション調整のレベルを 6 段階から選択します。

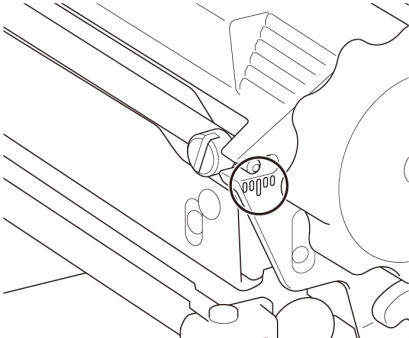
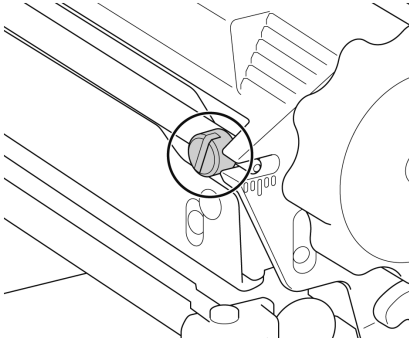
4.2 ラベルのシワを防ぐ

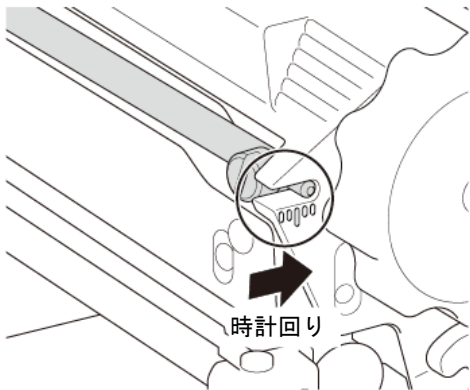
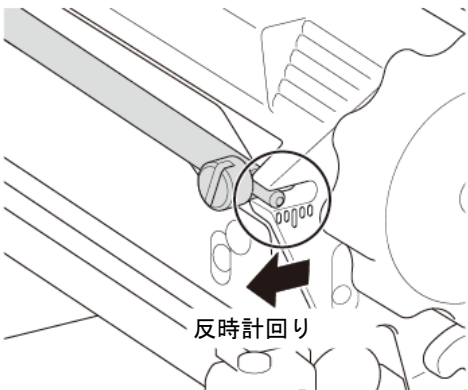
ラベルのシワは、用紙の幅と厚み、印字ヘッド圧のバランス、リボンフィルムの特性、印字濃度の設定など、多くの要因によって発生します。

4.2.1 リボンのテンションを調整する

ラベルのシワを防ぐため、リボンテンション調整ネジを使用してリボンのテンションを調整します。テンション調整のレベルを 5 段階から選択します。



説明	ラベル右下から左上にかけてリボンにシワが発生。	ラベル左下から右上にかけてリボンにシワが発生。
シワの例		
調整可能な プリンター部品	リボンテンション調整目盛り 	リボンテンション調整ネジ 

	1. リボンテンション調整ネジを、リボンテンション調整目盛りの 1 レベルにつき時計回りに 1 回転させ、テンションを調整し、再度ラベルを印刷してシワがなくなっているかどうか確認します。  時計回り 2. リボンテンション調整ネジが最も内側の位置になってもリボンのシワが改善されない場合は、印字ヘッドテンション調整つまみを 1 段階ずつ回し、その都度ラベルを印刷し、シワがなくなっているかどうか確認します。	1. リボンテンション調整ネジを、リボンテンション調整目盛りの 1 レベルにつき反時計回りに 1 回転させ、テンションを調整し、再度ラベルを印刷してシワがなくなっているかどうか確認します。  反時計回り 2. リボンテンション調整ネジが最も外側の位置になってもリボンのシワが改善されない場合は、印字ヘッドテンション調整つまみを 1 段階ずつ回し、その都度ラベルを印刷し、シワがなくなっているかどうか確認します。
--	---	--

4.2.2 印字濃度設定を変更する

お願い

印字濃度に関する詳細は、「[7.1.1 FBPL 設定](#)」および「[7.1.2 ZPL2 設定](#)」をご覧ください。

4.2.3 違う用紙で試してみる

正しい用紙をセットしていることを確認してください。

お願い

対応する用紙幅と用紙の厚さについての詳細は、「[10 製品仕様](#)」をご覧ください。

お願い

それでもシワが発生する場合は、ブラザーコールセンターまたはお近くの販売店までご連絡ください。

5. 印刷

5.1 プリンタードライバーのインストール

お願い

機種名とシリアルナンバーは、プリンター背面をご確認ください。
お使いのモデルに合ったドライバーをダウンロードしてください。

- TJ-4021TN : Brother TJ-40
 - TJ-4121TN/TJ-4121TNR : Brother TJ-41
-

ドライバーインストールの方法は、接続方式によって異なります。

- [USB 接続 \(Windows/Mac/Linux\)](#)
- [Wi-Fi ネットワーク接続 \(Windows\)](#)
- [有線ネットワーク接続 \(Windows\)](#)

5.1.1 USB 接続 (Windows/Mac/Linux)

お願い

Mac/Linux を使用する場合

ドライバーのインストールに関する詳細については、ドライバー付属のインストールガイドを参照してください。

1. USB ケーブルを使用してお使いになるプリンターをパソコンに接続します。
2. support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルのダウンロードページで、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
3. Seagull Driver Wizard アプリを実行し、プリンタードライバーのインストールを選択し、次に **USB** を選択します。
4. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

プリンタードライバーをインストールできない場合：

- 手動でプリンタードライバーをインストールします。
Seagull Driver Wizard アプリでプリンタードライバーのインストールを選択した後、**その他**を選択してください。

- 既存のプリンタードライバーを削除します。
Seagull Driver Wizard アプリでプリンタドライバの削除を選択した後、**すべてのシーガル・ドライバー**を自動的に削除しますまたは**プリンタドライバ削除詳細設定オプション**を使用を選択してください。
 - 印刷設定をリセットします。
BPM を実行し、**メンテナンス > 工場出荷設定**の順にクリックします。
-

5.1.2 Wi-Fi ネットワーク接続 (Windows)

お願い

Wi-Fi を使用するには、無線 LAN ユニット (PA-WI-002) が必要です。

お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントと、プリンターのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認してください。詳細については、お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。ルーターの製造元メーカー、システム管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

1. ネットワークを設定します。
 - BPM を使用する
 - a. USB ケーブルを使用してお使いになるプリンターをパソコンに接続します。
 - b. **プリンター設定 > Wi-Fi** の順にクリックします。
 - c. **SSID、暗号化方式、キー (ネットワークパスワード)** を指定し、**設定**をクリックします。
 - d. **取得**をクリックします。
 - e. **メンテナンス > 本体設定印刷**をクリックします。
ネットワーク設定が印刷されます。プリンターの IP アドレスが正しいことを確認します。
 - タッチパネルを使用する
 - a. **インターフェイス > WiFi** を選択します。
 - b. **SSID、セキュリティ、パスワード**を指定します。
 - c. 完了すると、Wi-Fi アイコンとプリンターの IP アドレスがタッチパネルに表示されます。
2. support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの**ダウンロードページ**で、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
3. Seagull Driver Wizard アプリを実行します。**プリンタドライバのインストール**を選択し、次に**ネットワーク**を選択します。
4. お使いのプリンターを選択し、**次へ**をクリックします。
5. お使いの TCP/IP ポートがリストに表示されていない場合は、**ポートの追加**をクリックし、**Standard TCP/IP port > 新規ポート**の順に選択します。
6. お使いのプリンターの IP アドレスとポート名を入力し、**次へ**をクリックします。
7. **完了**をクリックします。

8. **ポートの指定**画面に戻り、追加したポートを選択します。
9. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

プリンタードライバーをインストールできない場合：

- 既存のプリンタードライバーを削除します。
Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタドライバの削除**を選択した後、**すべてのシーガル・ドライバを自動的に削除します**または**プリンタドライバ削除詳細設定オプション**を使用を選択してください。
 - 印刷設定をリセットします。
BPM を実行し、**メンテナンス > 工場出荷設定**の順にクリックします。
-

5.1.3 有線ネットワーク接続 (Windows)

1. LAN ケーブルを使用してプリンターとパソコンをお使いのルーターまたはアクセスポイントに接続します。プリンターが自動的に初期 IP アドレスを取得し、タッチパネルに表示します。
2. support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルのダウンロードページで、最新のプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードします。
3. Seagull Driver Wizard アプリを実行します。**プリンタドライバのインストール**を選択し、次に**ネットワーク**を選択します。
4. お使いのプリンターを選択し、**次へ**をクリックします。
5. お使いになる TCP/IP ポートがリストに表示されていないときは、**ポートの追加**をクリックし、**Standard TCP/IP port > 新規ポート**を選択します。
6. お使いのプリンターの IP アドレスとポート名を入力し、**次へ**をクリックします。
7. **完了**をクリックします。
8. **ポートの指定**画面に戻り、追加したポートを選択します。
9. 画面上の操作案内に従ってください。

お願い

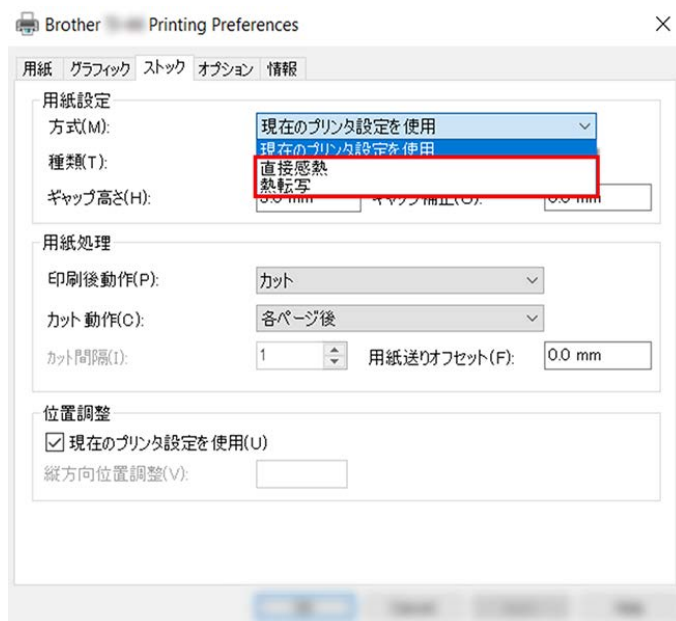
プリンタードライバーをインストールできない場合：

- 既存のプリンタードライバーを削除します。
Seagull Driver Wizard アプリで**プリンタドライバの削除**を選択した後、**すべてのシーガル・ドライバを自動的に削除します**または**プリンタドライバ削除詳細設定オプション**を使用を選択してください。
 - 印刷設定をリセットします。
BPM を実行し、**メンテナンス > 工場出荷設定**の順にクリックします。
-

5.2 印字方式（感熱方式・熱転写方式）の設定

プリンタードライバーを使用する方法

1. 感熱方式で印刷する場合：
プリンターに感熱紙ををセットします（インクリボンは不要です）。
熱転写方式で印刷する場合：
プリンターに熱転写紙とインクリボンをセットします。
2. デバイスとプリンターを開きます。
詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページで「デバイスとプリンター ウィンドウの開き方」をご覧ください。
3. 設定を変更したいプリンターを右クリックし、印刷設定を選択します。
4. スtockタブを選択します。
5. 用紙設定の方式(M) ドロップダウンリストから、直接感熱または熱転写を選択します。



6. 適用、OK の順にクリックし、設定を適用します。

BPM (Brother Printer Management Tool) を使用する場合は、次の手順に従って、印刷方式を直接感熱または熱転写に設定できます。

1. 感熱方式で印刷する場合：
プリンターに感熱紙をセットします（インクリボンは不要です）。
熱転写方式で印刷する場合
プリンターに熱転写紙とインクリボンをセットします。
2. USB ケーブルを使用してお使いのプリンターをパソコンに接続します。
3. BPM を起動します。
4. プリンター設定をクリックし、詳細設定タブを選択します。

5. 感熱方式で印刷する場合：
リボンの設定をオフにします。

Printer Settings window, ZPL tab. The 'Ribbon' setting is set to 'Off' and is highlighted with a red box.

Setting	Value	Setting	Value
ギャップ検出感度	10	ヘッドアップセンサー	オン
ブラックマーク検出感度	2	エラー後に再プリント	オン
無定長用紙感度	4	リボン	オフ
しきい値検出	固定	リボンセンサー	オン
国コード	001	リボンエンコーダーエラー	オン

- 熱転写方式で印刷する場合：
リボンの設定をオンにして、リボンセンサーの設定とリボンエンコーダーエラーの設定を行います。

Printer Settings window, ZPL tab. The 'Ribbon', 'Ribbon Sensor', and 'Ribbon Encoder Error' settings are all set to 'On' and are highlighted with a red box.

Setting	Value	Setting	Value
ギャップ検出感度	10	ヘッドアップセンサー	オン
ブラックマーク検出感度	2	エラー後に再プリント	オン
無定長用紙感度	4	リボン	オン
しきい値検出	固定	リボンセンサー	オン
国コード	001	リボンエンコーダーエラー	オン

お願い

リボン設定で「オフ」を選択すると、リボンセンサーとリボンエンコーダーエラーの設定を「オン」にして「オン」と表示されていても、リボンセンサーとリボンエンコーダーセンサーの両方がオフになります。リボンセンサーとリボンエンコーダーエラーの設定を「オン」にするには、リボンの設定を「オン」にしてください。

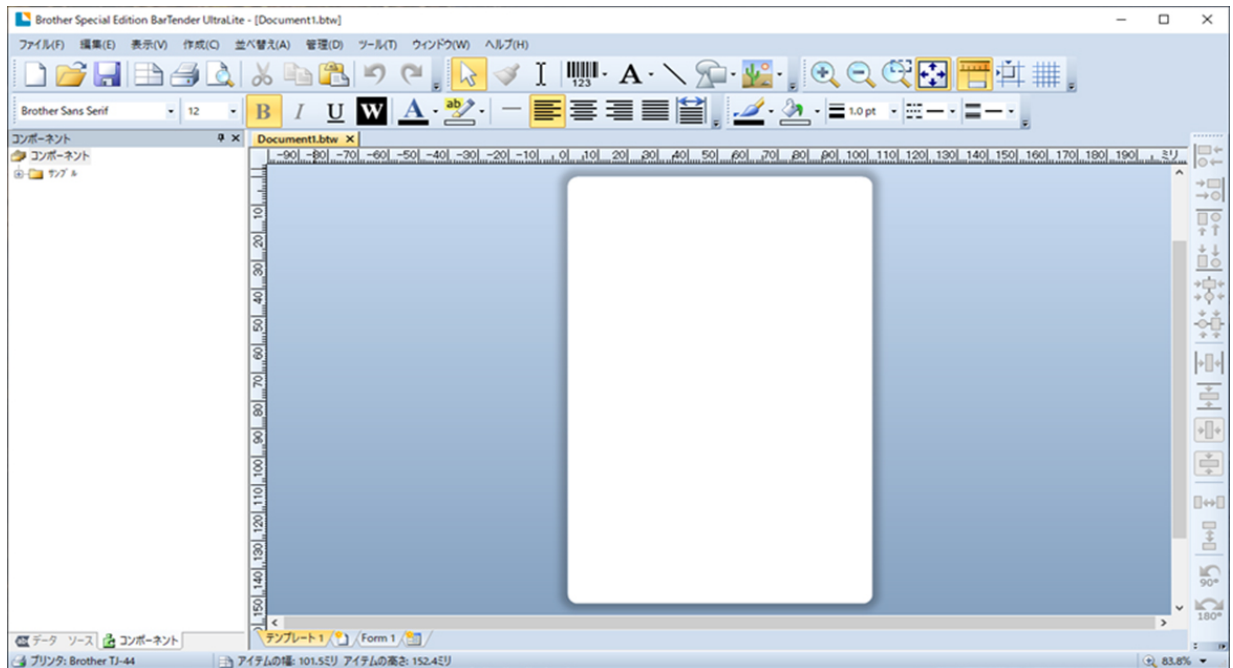
- 6 設定をクリックして設定を適用します。

5.3 BarTender を使用してラベルを作成・印刷する

BarTender は、support.brother.co.jp にある製品ページのソフトウェアダウンロードから無償でダウンロード可能なラベル作成ソフトウェアです。

このソフトウェアは Windows でのみご利用いただけます。

1. BarTender を起動します。
2. 画面の案内に従い、ラベルを作成します。



お願い

BarTender の使い方については、メニューバーにてヘルプをクリックしてください。

3. メニューバーから**ファイル > 印刷**をクリックし、作成したラベルを印刷します。

6. 操作

6.1 パワーオンユーティリティ

プリンターの機能を設定したり、テストするために様々なパワーオンユーティリティがあります。

センサーキャリブレーション、セルフテスト、工場出荷設定の復元を行うには、パワーオンユーティリティを使用してください。

1. ラベルプリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. 設定したい機能やテストが画面に表示されたら、ボタンを離します。

パワーオンユーティリティ		ステータス LED のパターン						
機能	LED の色	黄色 (点灯)	赤色 (5 回点滅)	黄色 (5 回点滅)	緑色 (5 回点滅)	緑色/ 黄色 (5 回点滅)	赤色/黄色 (5 回点滅)	緑色 (点灯)
1. センサーキャリブレーション (ギャップセンサー/ブラックマークセンサー)			✓					
2. セルフテスト (ダンプモードに入る)				✓				
3. 工場出荷設定					✓			
4. 黒マークキャリブレーション						✓		
5. ギャップキャリブレーション							✓	
6. Ready (AUTO.BAS をスキップ)								✓

6.1.1 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション

次の場合は、ギャップセンサー/ブラックマークセンサー感度のキャリブレーションを行ってください。

- 新しいプリンターを購入した場合。
- ラベルロールを交換した場合。
- ラベルプリンターを初期化した場合。

ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション方法：

1. プリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. タッチパネルに**センサーキャリブレーション**（LED 赤色 5 回点滅時）と表示されたら、ボタンを離します。

 お願い

- LED の色は次のように変化します。
黄色（点灯）→ **赤色（5 回点滅）** → 黄色（5 回点滅）→ 緑色（5 回点滅）→ 緑色/黄色（5 回点滅）→ 赤色/黄色（5 回点滅）→ 緑色（点灯）
 - キャリブレーションを行うセンサーを選択するには、適切なコマンドをプリンターに送信してください。
 - ・ギャップセンサーの場合：GAP コマンドを送信します
 - ・ブラックマークセンサーの場合：BLINE コマンドを送信します使用できるコマンドの詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの**製品マニュアル**ページで、**FBPL コマンドリファレンス**をご覧ください。
-

6.1.2 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモードに入る

前回の印刷ジョブで使用したセンサーの設定が今回の印刷ジョブに適していない場合は、ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーのキャリブレーションを行います。ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション中、プリンターはラベルの長さを検出し、内部設定を印刷（セルフテスト）し、その後ダンプモードに入ります。

ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション方法：

1. プリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. タッチパネルに「**セルフテスト**」（LED 黄色 5 回点滅時）が表示されたら、ボタンを離します。

 お願い

LED の色は次のように変化します。

黄色（点灯）→ 赤色（5 回点滅）→ **黄色（5 回点滅）** → 緑色（5 回点滅）→ 緑色/黄色（5 回点滅）→ 赤色/黄色（5 回点滅）→ 緑色（点灯）

4. プリンターはセンサーのキャリブレーションを行い、ラベルの長さを検出し、内部設定を印刷し、その後ダンプモードに入ります。

📄 お問い合わせ

キャリブレーションを行うセンサーを選択するには、適切なコマンドをプリンターに送信してください。

- ギャップセンサーの場合：GAP コマンドを送信します
- ブラックマークセンサーの場合：BLINE コマンドを送信します

使用できるコマンドの詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページで、FBPL コマンドリファレンスを参照してください。

■ セルフテスト

ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行った後、プリンター設定を印刷します。セルフテスト印刷ではプリンター設定と使用可能なメモリ容量が印刷されます。また、発熱部品でドットの損傷がないかが分かります。

セルフテスト印刷	
<pre>----- SYSTEM INFORMATION ----- MODEL: XXXXXX FIRMWARE: X.XX CHECKSUM: XXXXXXXX S/N: XXXXXXXXXXXX TCF: NO DATE: 1970/01/01 TIME: 00:04:18 NON-RESET: 110 m (TPH) RESET: 110 m (TPH) NON-RESET: 0 (CUT) RESET: 0 (CUT) -----</pre>	機種名 ファームウェアバージョン ファームウェアチェックサム プリンターシリアル番号 設定ファイル システム日付 システム時刻 総印刷距離 (m) カット回数
<pre>----- PRINTING SETTING ----- SPEED: 5 IPS DENSITY: 8.0 WIDTH: 4.00 INCH HEIGHT: 4.00 INCH GAP: 0.00 INCH INTENSION: 5 CODEPAGE: 850 COUNTRY: 001 -----</pre>	印字速度 (インチ/秒) 印刷濃度 ラベルサイズ (インチ) ギャップ距離 (インチ) ギャップセンサー/ブラック マークセンサー感度 コードページ 国コード

セルフテスト印刷	
<pre> ----- Z SETTING ----- DARKNESS: 16.0 SPEED: 4 IPS WIDTH: 4.00 INCH TILDE: 7EH (~) CARET: 5EH (^) DELIMITER: 2CH (,) POWER UP: NO MOTION HEAD CLOSE: NO MOTION ----- </pre>	印字濃度 印字速度 (インチ/秒) ラベルサイズ 制御接頭文字 フォーマット接頭文字 区切り文字接頭文字 プリンターパワーアップ動作 印字ヘッドクローズ動作
<pre> ----- RS232 SETTING ----- BAUD: 9600 PARITY: NONE DATA BIT: 8 STOP BIT: 1 ----- </pre>	RS232 シリアルポート設定
<pre> ----- RFID SETTING ----- RFID FREQ: European Union 3 ----- </pre>	RFID 周波数帯地域
<pre> ----- ETHERNET SETTING ----- NAME: XXXXX MAC ADDR: XXXXX DHCP: ON IP ADDR: 0.0.0.0 SUBNET: 0.0.0.0 GATEWAY: 0.0.0.0 PORT: 9100 ----- </pre>	プリンター名 MAC アドレス DHCP IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ RAW ポート
<pre> ----- WIFI SETTING ----- APP VERSION: 3.5.1 0R3 MAC ADDRESS: 00:80:A3:D9:1D:CE Region: United States SSID: DHCP ENABLED: YES IP ADDRESS: SUBNET MASK: 0.0.0.0 GATEWAY: PRINTER NAME: PS-D91DCD RAW PORT: 9100 ----- </pre>	Wi-Fi 設定

セルフテスト印刷

```

-----
DRAM FILE (0 FILES)
-----
PHYSICAL    XXXX KBYTES
AVAILABLE    XXXX KBYTES
-----

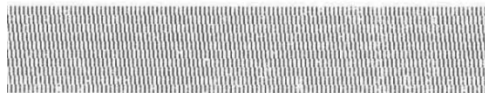
```

```

-----
FLASH FILE (0 FILES)
-----
MENU.MMF     XX BYTES

PHYSICAL    XXXX KBYTES
AVAILABLE    XXXX KBYTES
-----

```



ダウンロード済みファイル数
合計および使用可能なメモリ
スペース

印字ヘッドチェックパターン

■ ダンプモード

📄 お問い合わせ

- ダンプモードには、幅 101.5 mm の用紙を使用してください。
- 通常の印刷を再開するには、プリンターの電源を一旦オフにしてから、オンにします。

プリンターはプリンター設定を印刷後、ダンプモードに入ります。ダンプモードを使用するとユーザーはプリンターのプログラムを確認し、デバッグできます。左の列の文字はプリンターシステムから受信したもので、右の列は 16 進数表示です。

ASCII データ	→	<pre> SPEED 2.0 53 50 45 45 44 20 32 2E 30 0D DENSITY 8 0A 44 45 4E 53 49 54 59 20 38 SET PEEL 9D 0A 53 45 54 20 50 45 45 4C OFF DIRE 20 4F 46 46 0D 0A 44 49 52 45 CTION 0.0 43 54 49 4F 4E 20 30 0D 0A 47 AP 3.00 mm 41 50 20 33 2E 30 30 20 6D 6D .0.00 mm 2C 30 2E 30 30 20 6D 6D 0D 0A REFERENCE 52 45 46 45 52 45 4E 43 45 20 0.0 SET C 30 2C 30 0D 0A 53 45 54 20 43 UTTER OFF 55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D SIZE 100. 0A 53 49 5A 45 20 31 30 30 2E 02 mm.65.0 30 32 20 6D 6D 2C 36 35 2E 30 4 mm CLS 34 20 6D 6D 0D 0A 43 4C 53 0D BARCODE 1 0A 42 41 52 43 4F 44 45 20 31 44,149,"39 34 34 2C 31 34 39 2C 22 33 39 ".120,"1.0. 22 2C 31 32 30 2C 31 2C 30 2C 2.0,"57114 32 2C 36 2C 22 35 37 31 31 34 38T" PRIN 33 38 54 22 0D 0A 50 52 49 4E T 1.1 SPE 54 20 31 2C 31 0D 0A 53 50 45 ED 2.0 DE 45 44 20 32 2E 30 0D 0A 44 45 NSITY 8 S 4E 53 49 54 59 20 38 0D 0A 53 ET PEEL OF 45 54 20 50 45 45 4C 20 4F 46 F DIRECTI 46 0D 0A 44 49 52 45 43 54 49 ON 0 GAP 4F 4E 20 30 0D 0A 47 41 50 20 3.00 mm.0. 33 2E 30 30 20 6D 6D 2C 30 2E 00 mm REF 30 30 20 6D 6D 0D 0A 52 45 46 ERENCE 0.0 45 52 45 4E 43 45 20 30 2C 30 SET CUTT 0D 0A 53 45 54 20 43 55 54 54 ER OFF SI 45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53 49 ZE 100.02 5A 45 20 31 30 30 2E 30 32 20 mm.65.04 m 0D 6D 2C 36 35 2E 30 34 20 6D m CLS BA 6D 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 42 41 RCODE 144. 52 43 4F 44 45 20 31 34 34 2C 149,"39",1 31 34 39 2C 22 33 39 22 2C 31 20,1.0,2.0 32 30 2C 31 2C 30 2C 32 2C 36 ,"5711438T 2C 22 35 37 31 31 34 33 38 54 PRINT 1 22 0D 0A 50 52 49 4E 54 20 31 .1 2C 31 0D 0A </pre>	←	ASCII データの 16 進数表示
-----------	---	---	---	--------------------

6.1.3 プリンターの初期化

プリンターを初期化するとプリンターの DRAM が削除され、工場設定に復元されます。

1. プリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. タッチパネルに「**工場出荷設定**」（LED 緑色 5 回点滅時）が表示されたら、ボタンを離します。

お願い

LED の色は次のように変化します。

黄色（点灯）→ 赤色（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ **緑色（5 回点滅）** → 緑色/黄色（5 回点滅）→ 赤色/黄色（5 回点滅）→ 緑色（点灯）

初期化後、次の工場設定に復元されます。

パラメーター	デフォルト
印字速度	127 mm/秒 (5 ips) (203 DPI) 76 mm/秒 (3 ips) (300 DPI)
印字濃度	8
ラベル幅	101.5 mm
ラベル高さ	101.5 mm
センサータイプ	ギャップセンサー：TJ-4021TN、TJ-4121TN 黒マークセンサー：TJ-4121TNR
ギャップ設定	3 mm
印字方向	0
レファレンスポイント	0,0 (左上角)
オフセット	0
ティアモード	オン
ハクリモード	オフ
カッターモード	オフ
巻取モード	オフ
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリの削除	しない

6.1.4 メディアセンサーキャリブレーション (ブラックマークセンサー用)

1. プリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. タッチパネルに「**黒マークキャリブレーション**」(LED 緑色/黄色 5 回点滅時)が表示されたら、ボタンを離します。

お願い

LED の色は次のように変化します。

黄色 (点灯) → 赤色 (5 回点滅) → 黄色 (5 回点滅) → 緑色 (5 回点滅) → **緑色/黄色 (5 回点滅)** → 赤色/黄色 (5 回点滅) → 緑色 (点灯)

6.1.5 メディアセンサーキャリブレーション (ギャップセンサー用)

1. プリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. タッチパネルに「**ギャップキャリブレーション**」(LED 赤色/黄色 5 回点滅時)が表示されたら、ボタンを離します。

お願い

LED の色は次のように変化します。

黄色 (点灯) → 赤色 (5 回点滅) → 黄色 (5 回点滅) → 緑色 (5 回点滅) → 緑色/黄色 (5 回点滅) → **赤色/黄色 (5 回点滅)** → 緑色 (点灯)

6.1.6 AUTO.BAS プログラムをスキップする

AUTO.BAS プログラムをプリンターのフラッシュメモリにアップロードすると、起動時にプログラムを自動的に実行させることができます。自動実行を希望しない場合は、次の手順に従ってください。

1. プリンターの電源をオフにします。
2. 右側の**選択**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。
3. タッチパネルに「**Ready (AUTO.BAS をスキップ)**」(LED 緑色点灯時)が表示されたら、ボタンを離します。

 お願い

LED の色は次のように変化します。

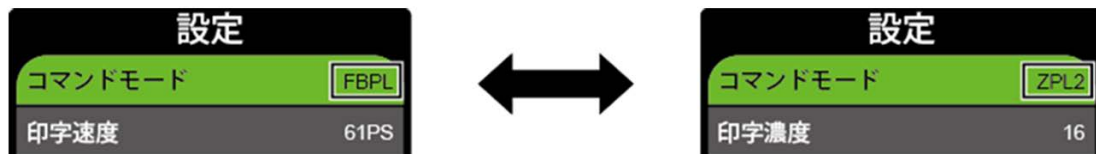
黄色 (点灯) → 赤色 (5 回点滅) → 黄色 (5 回点滅) → 緑色 (5 回点滅) → 緑色/黄色
(5 回点滅) → 赤色/黄色 (5 回点滅) → **緑色 (点灯)**

4. これでプリンター起動時に AUTO.BAS プログラムが実行されなくなります。

7. タッチパネルを使用して印刷設定を変更する

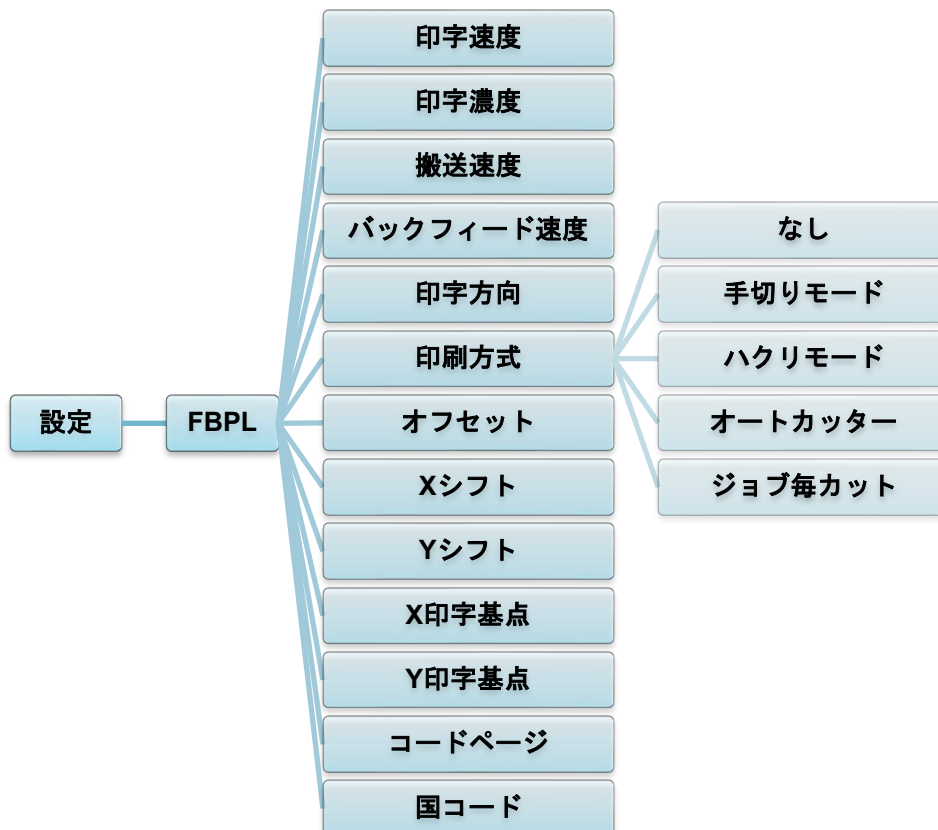
7.1 設定メニュー

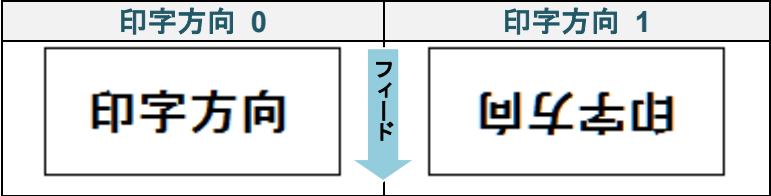
1. メインメニューで、**設定**を選択します。
2. コマンドモードをタップし、使用するプログラム言語を選択します。
3.  アイコンをタップします。



7.1.1 FBPL 設定

次の FBPL 設定を使用できます。



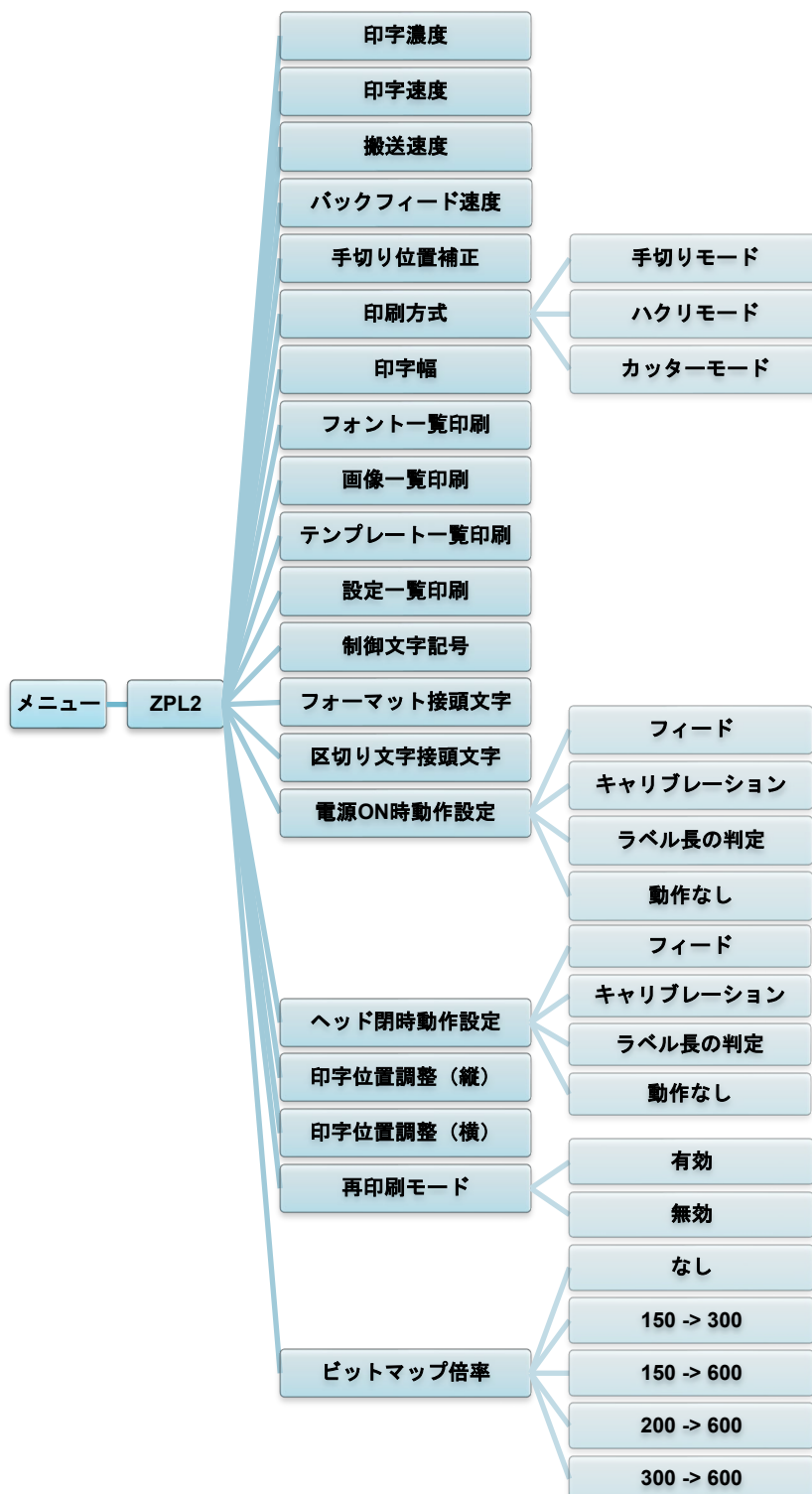
設定	説明												
印字速度	印字速度を設定します。設定範囲は以下となります。 ● 203 dpi の場合、1 ips ～ 10 ips (デフォルト : 5) ● 300 dpi の場合、1 ips ～ 7 ips (デフォルト : 3)												
印字濃度	印字濃度を調整します。設定範囲は 0～15 です。用紙により、印刷濃度の調節が必要な場合があります。												
印字方向	印字方向を指定します。 												
印刷方式	印刷方式を設定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>印刷方式</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td><td>次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます (手切り位置補正モード)。</td></tr> <tr> <td>手切りモード</td><td>画像を印刷した後、手切りできるようギャップ/ブラックマークをティアプレート位置に送ります。</td></tr> <tr> <td>ハクリモード</td><td>ラベルを剥離するモードを有効にします。</td></tr> <tr> <td>オートカッター</td><td>ラベルをカットするモードを有効にします。</td></tr> <tr> <td>ジョブ毎カット</td><td>印刷ジョブの最後に一度ラベルをカットします。</td></tr> </tbody> </table>	印刷方式	説明	なし	次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます (手切り位置補正モード)。	手切りモード	画像を印刷した後、手切りできるようギャップ/ブラックマークをティアプレート位置に送ります。	ハクリモード	ラベルを剥離するモードを有効にします。	オートカッター	ラベルをカットするモードを有効にします。	ジョブ毎カット	印刷ジョブの最後に一度ラベルをカットします。
印刷方式	説明												
なし	次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます (手切り位置補正モード)。												
手切りモード	画像を印刷した後、手切りできるようギャップ/ブラックマークをティアプレート位置に送ります。												
ハクリモード	ラベルを剥離するモードを有効にします。												
オートカッター	ラベルをカットするモードを有効にします。												
ジョブ毎カット	印刷ジョブの最後に一度ラベルをカットします。												
オフセット	用紙の停止位置を微調整します。設定範囲は、-999～999 ドットです。												
X シフト	印字位置を微調整します。設定範囲は、-999～999 ドットです。												
Y シフト													
X 印字基点	プリンターの縦、横方向の座標の基点を設定します。設定範囲は、0～999 ドットです。												
Y 印字基点													
コードページ	国際文字セットのコードページを設定します。												
国コード	国コードを設定します。設定範囲は 1～358 です。												

お願い

ダウンロードしたソフトウェア/ドライバを使用して印刷する場合、タッチパネルでの設定よりもソフトウェア/ドライバのコマンドが優先されます。

7.1.2 ZPL2 設定

次の ZPL2 設定を使用できます。



設定	説明										
印字濃度	印字濃度を設定します。設定範囲は 0～30 です。選択した用紙により、印刷濃度の調節が必要な場合があります。										
印字速度	印字速度を設定します。設定範囲は以下となります。 203 dpi の場合、2 ips ～ 10 ips (デフォルト : 4) 300 dpi の場合、2 ips ～ 7 ips (デフォルト : 3)										
手切り位置補正	用紙の停止位置を微調整します。設定範囲は、-120～120 ドットです。										
印刷方式	印刷方式を設定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>印刷方式</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手切りモード</td><td>次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます。</td></tr> <tr> <td>ハクリモード</td><td>ラベルハクリモードを有効にします。</td></tr> <tr> <td>カッターモード</td><td>ラベルカッターモードを有効にします。</td></tr> </tbody> </table>	印刷方式	説明	手切りモード	次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます。	ハクリモード	ラベルハクリモードを有効にします。	カッターモード	ラベルカッターモードを有効にします。		
印刷方式	説明										
手切りモード	次のラベルの上端を印字ヘッドの印刷ラインに合わせます。										
ハクリモード	ラベルハクリモードを有効にします。										
カッターモード	ラベルカッターモードを有効にします。										
印字幅	印字幅を設定します。設定範囲は次になります。 203 dpi の場合、2～864 ドットです。 300 dpi の場合、2～1248 ドットです。										
フォント一覧印刷	プリンターで使えるフォントの一覧をラベルに印刷します。フォントはプリンターの DRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリーカードに保存できます。										
画像一覧印刷	プリンターで使える画像の一覧をラベルに印刷します。画像はプリンターの DRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリーカードに保存できます。										
テンプレート一覧印刷	プリンターで使えるテンプレートの一覧をラベルに印刷します。テンプレートはプリンターの DRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリーカードに保存できます。										
設定一覧印刷	現在のプリンター設定を印刷します。										
制御文字記号	制御接頭文字を設定します。										
フォーマット接頭文字	フォーマット接頭文字を設定します。										
区切り文字接頭文字	区切り文字接頭文字を設定します。										
電源 ON 時動作設定	プリンターの電源をオンにしたときの用紙動作を設定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対処方法</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィード</td><td>プリンターがラベルを一枚送ります。</td></tr> <tr> <td>キャリブレーション</td><td>プリンターがセンサーレベルのキャリブレーションを行い、ラベル長を判定した後、ラベルを一枚送ります。</td></tr> <tr> <td>ラベル長の判定</td><td>プリンターがラベル長を判定した後、ラベルを送ります。</td></tr> <tr> <td>動作なし</td><td>何の動作もしません。</td></tr> </tbody> </table>	対処方法	説明	フィード	プリンターがラベルを一枚送ります。	キャリブレーション	プリンターがセンサーレベルのキャリブレーションを行い、ラベル長を判定した後、ラベルを一枚送ります。	ラベル長の判定	プリンターがラベル長を判定した後、ラベルを送ります。	動作なし	何の動作もしません。
対処方法	説明										
フィード	プリンターがラベルを一枚送ります。										
キャリブレーション	プリンターがセンサーレベルのキャリブレーションを行い、ラベル長を判定した後、ラベルを一枚送ります。										
ラベル長の判定	プリンターがラベル長を判定した後、ラベルを送ります。										
動作なし	何の動作もしません。										

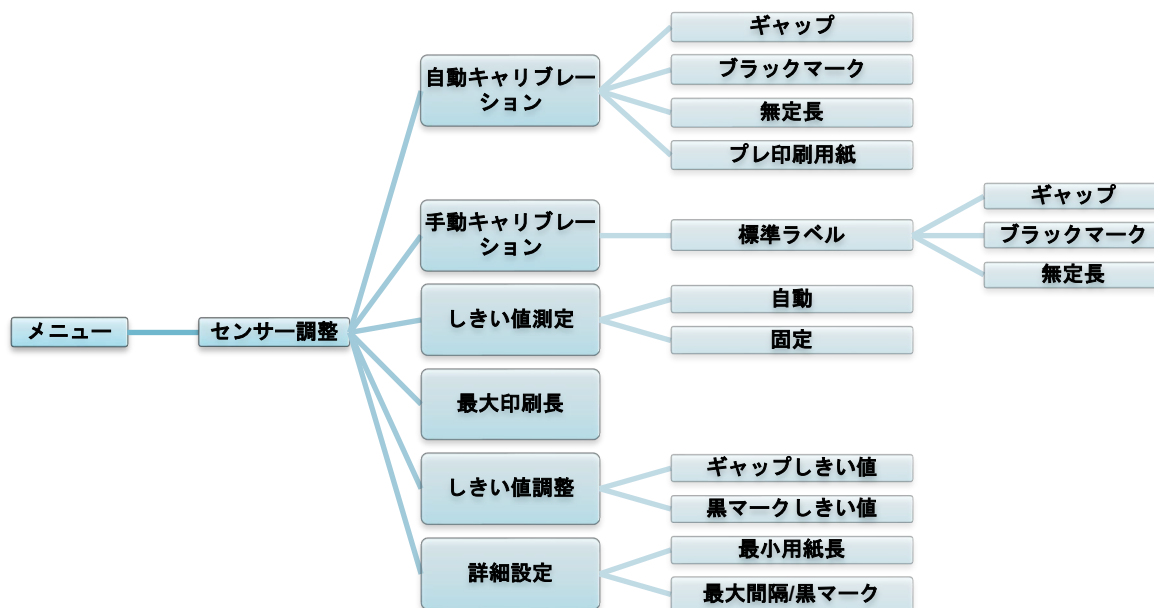
設定	説明	
ヘッド閉時動作設定	印字ヘッドを閉じたときの用紙動作を設定します。	
	対処方法	説明
	フィード	プリンターがラベルを一枚送ります。
	キャリブレーション	プリンターがセンサーレベルのキャリブレーションを行い、ラベル長を判定した後、ラベルを一枚送ります。
	ラベル長の判定	プリンターがラベル長を判定した後、ラベルを送ります。
	動作なし	何の動作もしません。
印字位置調整（縦）	ラベル上の印字位置を縦方向に調節します。設定範囲は、-120 ～ +120 ドットです。	
印字位置調整（横）	ラベル上の印字位置を横方向に調節します。設定範囲は、-9999 ～ +9999 ドットです。	
再印刷モード	タッチパネルの上矢印 (⤴) ボタンをタップすると、直前のラベルを再印刷します。	
ビットマップ倍率	ビットマップを拡大する倍率を選択します。最初の数字が元の DPI 値で、二つ目の数字が設定後の DPI 値です。	

お願い

ダウンロードしたソフトウェア/ドライバを使用して印刷する場合、タッチパネルでの設定よりもソフトウェア/ドライバのコマンドが優先されます。

7.2 センサー調整

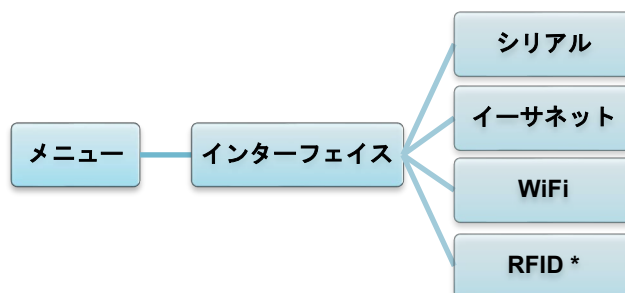
用紙を変更するたびにセンサーのキャリブレーションをすることをお勧めします。



設定	説明
自動キャリブレーション	メディアセンサーの種類を設定すると、自動的に選択したセンサーのキャリブレーションを行います。プリンターが最大 3 ギャップ分のラベルを送り、自動的にセンサー感度のキャリブレーションを行います。
手動キャリブレーション	現在の用紙で「自動キャリブレーション」機能が実行できない場合、「手動キャリブレーション」機能を使用して、用紙長さでギャップ/黒マークのサイズを設定し、バックグランド/マークをスキャンして、センサー感度のキャリブレーションを行います。
しきい値測定	センサー感度を、固定か自動に設定します。
最大印刷長	ラベルキャリブレーションを行うための最大印刷長を設定します。
しきい値調整	プレカット紙ラベルにおけるギャップ (間隔) 検出、またはブラックマーク検出の感度を調整します。
詳細設定	センサー感度を自動でキャリブレーションする場合の最小用紙長さと最大ギャップ/黒マークの長さを設定します。

7.3 インターフェイス設定

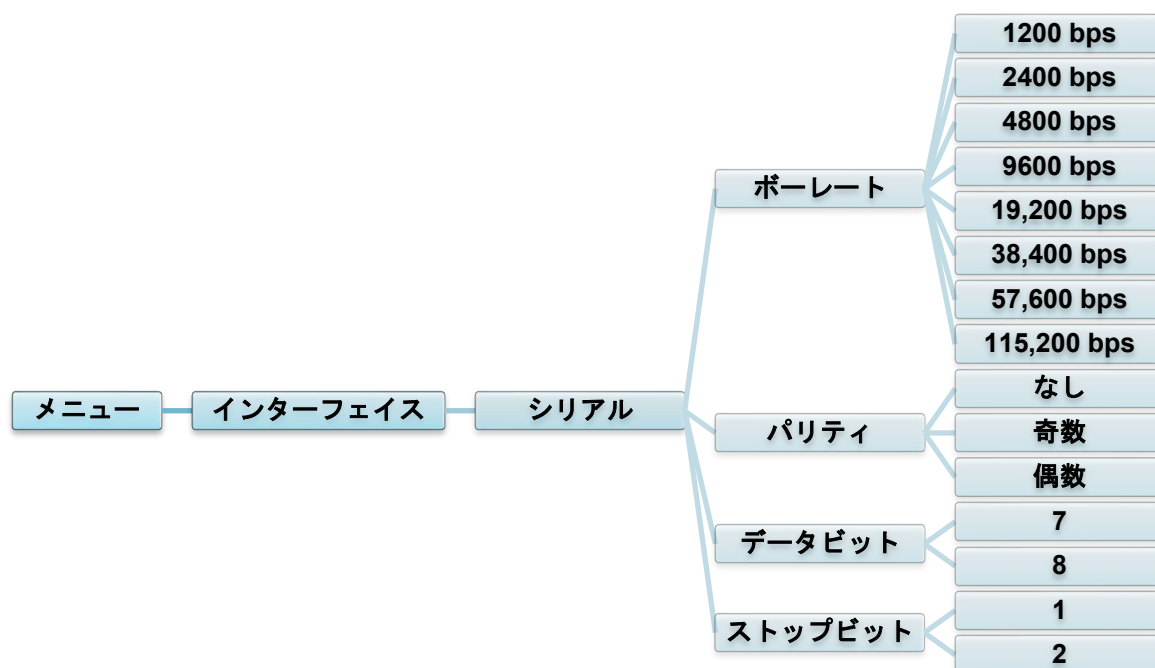
プリンターのインターフェイスの設定を行います。



* TJ-4121TNR でのみ使用できます。

7.3.1 シリアル通信設定

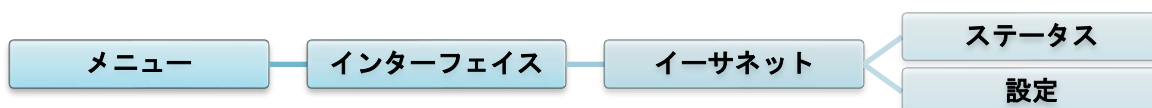
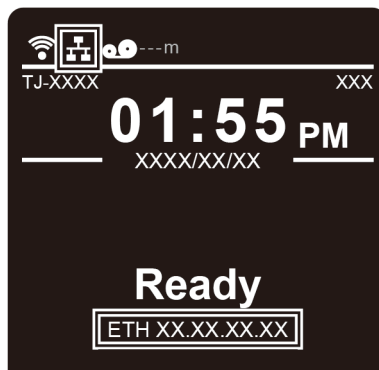
プリンターの RS-232 の設定を行います。



設定	説明
ボーレート	RS-232 通信のボーレートを設定します。
パリティ	RS-232 通信のパリティを設定します。
データビット	RS-232 通信のデータビットを設定します。
ストップビット	RS-232 通信のストップビットを設定します。

7.3.2 イーサネット設定

お使いのプリンターのイーサネット（有線）接続を設定し、その状態を確認できます。
イーサネット接続している場合、下図のようにイーサネットアイコンと IP アドレスが
タッチパネルに表示されます。



項目	説明
ステータス	イーサネット IP アドレスおよび MAC アドレスの設定ステータスを確認します。
設定	DHCP : DHCP ネットワークプロトコルを有効 (オン) または無効 (オフ) にします。 Static IP : プリンターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

お願い

プリンタードライバーのインストールについては、「[5.1.3 有線ネットワーク接続 \(Windows\)](#)」をご覧ください。

7.3.3 Wi-Fi 設定

お願い

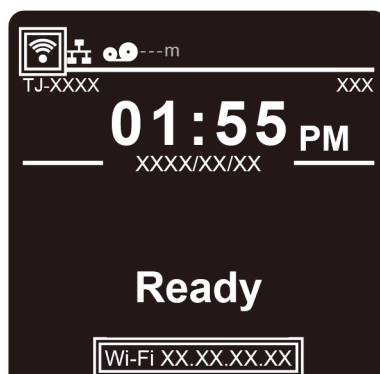
Wi-Fiを使用するには、オプションの無線LANユニット (PA-WI-002) が必要です。

お使いのプリンターの Wi-Fi 接続を設定し、その状態を確認できます。

この機能を使用するには、Brother Printer Management Tool (BPM) を使用して、エンタープライズ設定を行ってください。BPM を使用しての Wi-Fi 設定の詳細については、

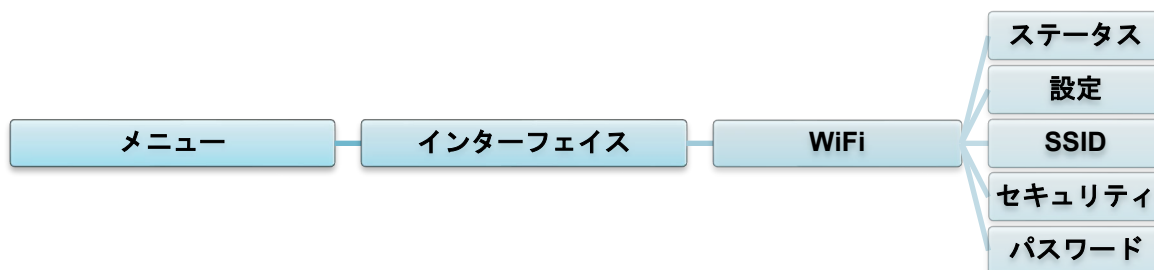
support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルで「Brother Printer Management Tool Quick Start Guide」(クイックスタートガイド) をご覧ください。

Wi-Fi インターネット接続している場合、下図のように Wi-Fi アイコンと IP アドレスがタッチパネルに表示されます。



お願い

お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントと、プリンターのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認してください。詳細については、お使いの無線ルーターまたはアクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。また、ルーターの製造元メーカー、システム管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。



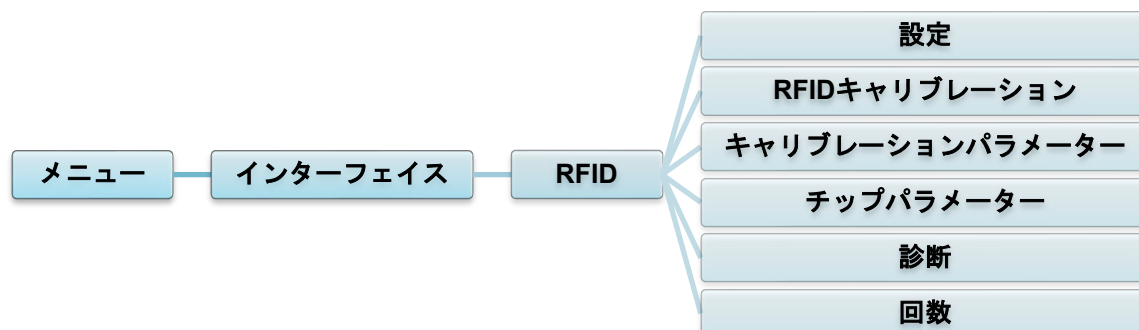
項目	説明
ステータス	Wi-Fi 通信の IP アドレスおよび MAC アドレスの設定ステータスを確認します。
設定	DHCP : DHCP ネットワークプロトコルを有効 (オン) または無効 (オフ) にします。 Static IP : プリンターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
SSID	SSID (ネットワーク名) を設定します。
セキュリティ	Wi-Fi 通信の暗号化方式を選択します。
パスワード	パスワード (ネットワークキー) を設定します。

お願い

プリンタードライバーのインストールについては、「[5.1.2 Wi-Fi ネットワーク接続 \(Windows\)](#)」をご覧ください。

7.3.4 RFID (Radio Frequency Identification) 設定

※TJ-4121TNR でのみ使用できます
プリンターの RFID の設定を行います。



項目	説明					
設定	RFID 有効	「有効」を選択して、RFID エンコーダーモジュールを有効にします。				
	エラー処理	「タグの読み取りができませんでした」のエラー処理モードを選択します。				
		不良タグ印字 (デフォルト)	ラベルが正常に処理されない場合、毎回不良タグ印字のまま印刷され、再試行回数が尽きるまで、新しいラベルで再試行が行われます。エラーメッセージが表示されるか、ラベルが再印刷されるかは、 最大試行回数時エラー の設定によります。			
		なし	タグのプログラミングに失敗しても、何の動作もしません。			
		停止	プリンターが停止し、エラーメッセージ「タグの読み取りができませんでした：媒体を確認してください」が表示されます。ラベルが破棄され、ホストからラベルの再印刷が開始されます。エラーがクリアされると、次のラベルが印刷位置に移動するまで、誤ったタグを含むラベルが移動します。			
	再試行回数	エラーを表示する前に RFID エンコーダーが試行するラベル印刷の回数。RFID エンコーダー、プリンター設定、ラベルストックに問題があることを示している場合があります。 <table><tr><td>最小</td><td>1</td></tr><tr><td>最大</td><td>10 (デフォルト)</td></tr></table>	最小	1	最大	10 (デフォルト)
	最小	1				
	最大	10 (デフォルト)				
	最大試行回数時エラー	再試行回数 を超えた場合にエラーを発生させるかどうかを設定します。				
	EPC 書き込み	プリンターによる RFID タグの EPC フィールドのエンコード方法を設定します。				
非 RFID コマンド受信警告	プリンターに RFID 用紙がセットされている場合に、プリンターが RFID コマンドが含まれていない印刷ジョブを受信すると警告を表示します。					

項目	説明						
RFID キャリブレーション	このサブメニューは、RFID キャリブレーションを実行するために使用します。プリンターに新しいタグをセットする際は、必ず RFID キャリブレーションを実行してください。RFID キャリブレーションは、RFID のチップタイプ、書き込み出力/読み取り出力、プログラムの位置、EPC/ユーザーフィールドの長さを判定します。						
	自動キャリブレーション	RFID キャリブレーションを実行します。 RFID タグのタイプが変更されると毎回実行します。					
	キャリブレーション回数	キャリブレーションに使用するタグの数を設定します。ただしこの値には、キャリブレーションプロセス中にギャップを探す際に移動するタグは含まれません。プリンターによって使用されるラベルの枚数は、セットしたタグのキャリブレーションの難易度によりますが、通常このメニューで大きい数値を選択すると、キャリブレーションの結果を判定するために使われるタグの数が多くなります。 <table><tr><td>最小</td><td>3 (デフォルト)</td></tr><tr><td>最大</td><td>7</td></tr></table>	最小	3 (デフォルト)	最大	7	
	最小	3 (デフォルト)					
	最大	7					
テスト EPC 長	RFID キャリブレーションを実行するために使用される EPC データのサイズを設定します。RFID キャリブレーションの精度を向上するため、この長さを長く設定することはできますが、使用するタグタイプが対応できる最長 EPC 長を超える値に設定することはできません。 <table><tr><td>最小</td><td>16</td></tr><tr><td>最大</td><td>256</td></tr><tr><td>デフォルト</td><td>96</td></tr></table>	最小	16	最大	256	デフォルト	96
最小	16						
最大	256						
デフォルト	96						
キャリブレーションパラメーター	最適なタグエンコードに使用される設定が含まれます。これらのパラメーターは、RFID キャリブレーションで自動取得できます。						
	書き込み開始位置	現在セットされているタグの RFID タグのエンコード位置を上部からオフセットする長さを設定します。					
	書き込み出力	RFID エンコーダーで使用する書き込み出力レベルを指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>1</td></tr><tr><td>最大</td><td>30</td></tr></table>	最小	1	最大	30	
	最小	1					
	最大	30					
読み取り出力	RFID エンコーダーで使用する読み取り出力レベルを指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>1</td></tr><tr><td>最大</td><td>30</td></tr></table>	最小	1	最大	30		
最小	1						
最大	30						

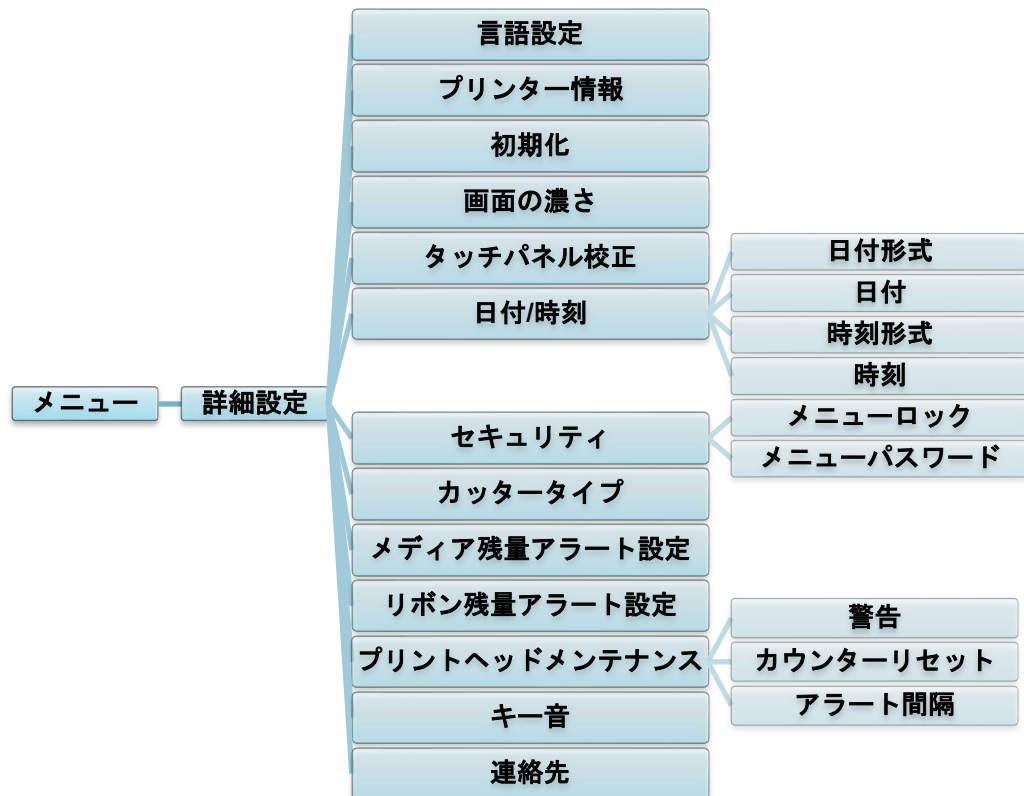
項目	説明					
チップ パラメーター	これらの設定は、カスタム RFID タグが必要な場合にシステムを設定するために使用されます。					
	USR サイズ RFID タグのメモリ内の USR ブロックバイトサイズを指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>0 (デフォルト)</td></tr><tr><td>最大</td><td>256</td></tr></table>  お願い Higgs 3 タグが検出された場合、この値は非表示になり、代わりに Higgs 3 USR サイズメニューが表示されます。	最小	0 (デフォルト)	最大	256	
	最小	0 (デフォルト)				
	最大	256				
	USR アドレス RFID タグのメモリ内の USR ブロックの開始位置を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>0 (デフォルト)</td></tr><tr><td>最大</td><td>32</td></tr></table>	最小	0 (デフォルト)	最大	32	
	最小	0 (デフォルト)				
最大	32					
TID サイズ タグ ID が含まれる RFID タグのメモリ内のメモリブロックのサイズを示します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>0</td></tr><tr><td>最大</td><td>12</td></tr><tr><td>デフォルト</td><td>8</td></tr></table>	最小	0	最大	12	デフォルト	8
最小	0					
最大	12					
デフォルト	8					
Higgs 3 USR サイズ Higgs 3 タグは、メモリバンクのサイズが固定されていない他の RFID タグとは異なります。EPC 長を 96 ビットよりも長くするため、Higgs 3 は USR バンクからメモリを借ります。この読み取り専用メニューは、RFID タグのメモリ内の USR ブロックのサイズをビット単位で示します。 <table><tr><td>最小</td><td>128</td></tr><tr><td>最大</td><td>512 (デフォルト)</td></tr></table>  お願い このメニューは、Higgs 3 タグが検出された場合のみ表示されます。	最小	128	最大	512 (デフォルト)		
最小	128					
最大	512 (デフォルト)					
Higgs 3 EPC サイズ Higgs 3 タグは、メモリバンクのサイズが固定されていない他の RFID タグとは異なります。EPC 長を 96 ビットよりも長くするため、Higgs 3 は USR バンクからメモリを借ります。このメニューでは、RFID タグのメモリ内の EPC ブロックに提供するビット数を選択できます。 <table><tr><td>最小</td><td>96</td></tr><tr><td>最大</td><td>480</td></tr><tr><td>デフォルト</td><td>96</td></tr></table>  お願い このメニューは、Higgs 3 タグが検出された場合のみ表示されます。	最小	96	最大	480	デフォルト	96
最小	96					
最大	480					
デフォルト	96					

項目	説明							
チップ パラメーター	タグ長	RFID タグのメモリ内の EPC ブロックバイトサイズを指定します。この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>8</td></tr><tr><td>最大</td><td>62</td></tr><tr><td>デフォルト</td><td>12</td></tr></table>  お願い Higgs 3 タグが検出された場合、この値は非表示になり、代わりに Higgs 3 EPC サイズメニューが表示されます。	最小	8	最大	62	デフォルト	12
	最小	8						
	最大	62						
デフォルト	12							
EPC アドレス	RFID タグのメモリ内の EPC ブロックの開始位置を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>0 (デフォルト)</td></tr><tr><td>最大</td><td>32</td></tr></table>	最小	0 (デフォルト)	最大	32			
最小	0 (デフォルト)							
最大	32							
ブロック サイズ	RFID タグのメモリ内の USR ブロックに一度に書き込まれる最大バイト数を指定します。通常、この値は RFID キャリブレーションプロセスで自動設定され、変更すべきではありません。 <table><tr><td>最小</td><td>0</td></tr><tr><td>最大</td><td>32</td></tr><tr><td>デフォルト</td><td>8</td></tr></table>	最小	0	最大	32	デフォルト	8	
最小	0							
最大	32							
デフォルト	8							
診断	これらの設定は、RFID システムの精度を判断することや、RFID システムの問題を解決することに役立つため、テストを実行するために使用されます。							
	タグ 読み取り	内部 RFID カプラーの範囲内のタグを読み取り、タグデータをデバッグポートに報告し、タッチパネルに表示します。システムが動作していることを確認することで、開発の確認を行うことを主な目的とした機能です。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な読み取り値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。						
	タグ 読み取り・ 送り	この設定は、タグ読み取りとまったく同じように機能します。ただし、プリンターによってタグが読み取られた後、ラベルを次の上端に送ります。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な読み取り値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。						

項目	説明
診断	USR 読み取り 内部 RFID カプラーの範囲内のタグのユーザーメモリバンクを読み取り、データをデバッグポートに報告し、タッチパネルに表示します。システムが動作していることを確認することで、開発の確認を行うことを主な目的とした機能です。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な読み取り値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。
	TID 読み取り 内部 RFID カプラーの範囲内のタグから ID (TID) を読み取り、読み取った値を ID メニューに表示します。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な読み取り値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。
	ID 電源を入れた後、最初に読み取られた ID (TID) を表示します。TID 読み取りメニューを使用している場合、最新の読み取り ID が表示されます。内部 RFID カプラーの範囲内にタグがない場合、タッチパネルに「不明」と表示されます。
	PC 読み取り 内部 RFID カプラーの範囲内の RFID タグから PC (プロトコルコントロール) フィールドを読み取り、読み取った値を PC メニューに表示します。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な読み取り値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。
	PC RFID タグから読み取られた最新の PC (プロトコルコントロール) フィールドを表示します。内部 RFID カプラーの範囲内にタグがない場合、タッチパネルに「不明」と表示されます。
	EPC 書き込みテスト(1s) 内部 RFID カプラー内の範囲のタグに 1 つのコード形式の EPC をすべて書き込みます。システムが動作していることを確認することで、開発の確認を行うことを主な目的とした機能です。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な書き込み値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。

項目	説明	
	EPC 書き込みテスト(2s)	内部 RFID カプラー内の範囲のタグに 2 つのコード形式の EPC をすべて書き込みます。システムが動作していることを確認することで、開発の確認を行うことを主な目的とした機能です。  お願い この設定は、カプラーの上に RFID タグを配置しません。正確な書き込み値を受信するため、必ずカプラーの上にタグを配置してください。
回数	これらの設定は、一般的に読み取り専用で、RFID システムによるプリンターに送信される印刷ジョブの報告方法について統計を収集し、報告するために使用されます。	
	書き込み総試行回数	最後に 回数リセット 操作が行われてから、書き込みが試行されたタグの数を表示します。
	書き込み失敗回数	最後に 回数リセット 操作が行われてから、書き込みに失敗したタグの数を表示します。
	読み取り回数	最後に 回数リセット 操作が行われてから、読み取られたタグの数を表示します。
	回数リセット	このサブメニューの回数メニューの項目をクリアします。
	RFID API ver	(TJ-4021TNR および TJ-4121TNR でのみ利用できます) エンコーダーにインストールされた RFID のファームウェアバージョンを表示します。
	RFID モジュール	(TJ-4021TNR および TJ-4121TNR でのみ利用できます) エンコーダーにインストールされた RFID のハードウェアバージョンを表示します。

7.4 詳細設定



項目	説明
言語設定	タッチパネルで使用する言語を指定します。
プリンター情報	プリンターのシリアル番号、総印刷距離 (m)、印刷枚数、カット回数を確認します。
初期化	プリンターを工場出荷時の設定に戻します。
画面の濃さ	タッチパネルの輝度を調整します (設定範囲 : 0~100)。
タッチパネル校正	タッチパネルをキャリブレーションします。
日付/時刻	タッチパネルに表示される日時を設定します。
セキュリティ	メニューまたはお気に入りをロックするパスワードを設定します。初期パスワードは「8888」です。
カッタータイプ	カッタータイプを設定します。
リボン残量アラート設定	リボン残量アラート設を設定します。例えば、30 m と設定した場合に、リボン残量が 30 m を下回ると  アイコンが赤で表示されます。10 m ~ 100 m (カスタマイズ可能)

項目	説明								
プリントヘッド メンテナンス	印字ヘッドの状態とメンテナンスの通知を確認します。								
	<table><tr><th>項目</th><th>説明</th></tr><tr><td>警告</td><td>印字ヘッドクリーニングの警告を有効または無効にします。この設定が有効で、印字ヘッドが設定した印刷距離に到達すると、印字ヘッドを掃除するよう警告するメッセージがタッチパネルに表示されます。初期設定は「無効」です。</td></tr><tr><td>カウンター リセット</td><td>印字ヘッドを掃除した後、印字ヘッドの印刷距離をリセットします。</td></tr><tr><td>アラート間隔</td><td>印字ヘッドクリーニングのアラートを表示する印刷距離を設定します。この項目を使用するには「警告」を有効にする必要があります。初期設定は「1 km」です。</td></tr></table>	項目	説明	警告	印字ヘッドクリーニングの警告を有効または無効にします。この設定が有効で、印字ヘッドが設定した印刷距離に到達すると、印字ヘッドを掃除するよう警告するメッセージがタッチパネルに表示されます。初期設定は「無効」です。	カウンター リセット	印字ヘッドを掃除した後、印字ヘッドの印刷距離をリセットします。	アラート間隔	印字ヘッドクリーニングのアラートを表示する印刷距離を設定します。この項目を使用するには「警告」を有効にする必要があります。初期設定は「1 km」です。
	項目	説明							
	警告	印字ヘッドクリーニングの警告を有効または無効にします。この設定が有効で、印字ヘッドが設定した印刷距離に到達すると、印字ヘッドを掃除するよう警告するメッセージがタッチパネルに表示されます。初期設定は「無効」です。							
カウンター リセット	印字ヘッドを掃除した後、印字ヘッドの印刷距離をリセットします。								
アラート間隔	印字ヘッドクリーニングのアラートを表示する印刷距離を設定します。この項目を使用するには「警告」を有効にする必要があります。初期設定は「1 km」です。								
キー音	ボタンのプッシュ音を有効または無効にします。								
連絡先	モバイル端末からサポートサイト (support.brother.co.jp) にアクセスするための QR コードを表示します。								

7.5 ファイルマネージャー

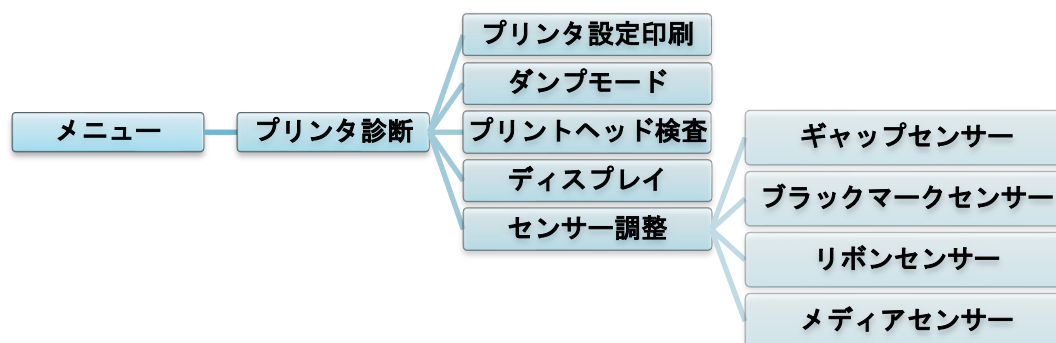
プリンターの使用可能なメモリの確認、ファイル一覧の表示、ファイルの削除、プリンターの DRAM/FLASH/CARD メモリに保存したファイルの実行を行います。



¹ microSD カードに microSD カード装着時のみ表示されます。

² USB ポートに USB メモリ挿入時のみ表示されます。

7.6 プリンタ診断機能



項目	説明
プリンタ設定印刷	現在のプリンター設定を印刷します。設定が印刷された用紙には、印字ヘッドのテストパターンも出力されます。テストパターンを確認することで、印字ヘッドの発熱素子にドットの損傷がないか確認できます。 詳細は、「6.1.2 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモード」をご覧ください。
ダンプモード	通信ポートからデータを取得し、プリンターが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは文字が二列で表示されます。左の列の文字はプリンターシステムから受信したもので、右の列は 16 進数表示です。このデータを確認することにより、プログラムを検証し、デバッグできます。 詳細は、「6.1.2 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモード」をご覧ください。  お願い ダンプモードには幅 101.6 mm の用紙を使用してください。
プリントヘッド検査	不良ドットがないか確認し、印字ヘッドの温度を確認します。
ディスプレイ	タッチパネルの色状態を確認します。
センサー調整	センサーの強度と読み取り状態を確認します。

8. Brother Printer Management Tool (BPM)

Brother Printer Management Tool (BPM) は、次の操作を可能にする総合的なツールです。

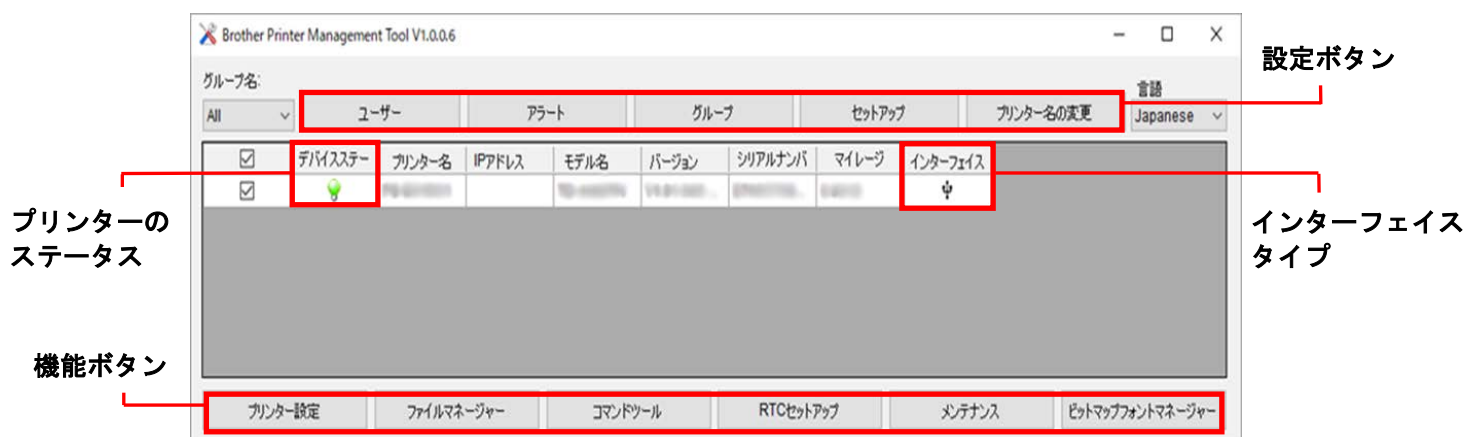
- プリンターのステータスと設定の確認
- 印刷設定の変更
- プリンターへの追加コマンドの送信
- グラフィックとフォントのダウンロード
- プリンターのビットマップフォントの作成
- ファームウェアのダウンロードとアップデート
- 無線 LAN (Wi-Fi) の設定

このツールでプリンターのステータスと設定を確認し、問題解決に役立てることができます。

このソフトウェアは Windows でのみご利用いただけます。

8.1 BPM を実行する

BPM アイコン  をダブルクリックし、ソフトウェアを起動します。



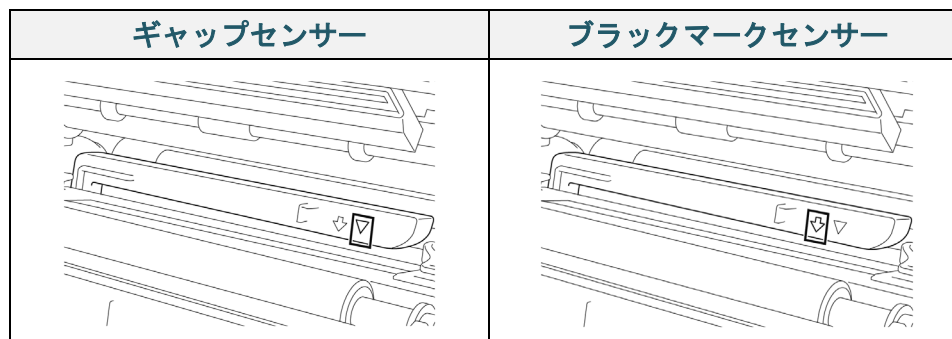
BPM のメイン画面からは、次のオプションにアクセスできます。

- プリンター設定
- ファイルマネージャー
- コマンドツール
- RTC（リアルタイムクロック）セットアップ
- メンテナンス
- ビットマップフォントマネージャー

詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルで「Brother Printer Management Tool Quick Start Guide」（クイックスタートガイド）をご覧ください。

8.2 BPM を使用してメディアセンサーの自動キャリブレーションを行う

BPM を使用してメディアセンサーの種類 (ギャップセンサーまたはブラックマークセンサー) を設定し、選択したセンサーのキャリブレーションを行います。



ギャップセンサー (透過型センサー) により、プリンターはラベルの先端を検出し、正しい位置にラベルを送ります。

ブラックマークセンサー (反射型センサー) により、プリンターはマークを検出し、正しい位置に用紙を送ります。

1. 用紙がすでにセットされていて、印字ヘッドが閉じていることを確認します。(「[3.4 メディアをセットする](#)」を参照。)
2. プリンターの電源をオンにします。
3. BPM を実行します。
4. メンテナンスボタンをクリックします。
5. キャリブレーションボタンをクリックします。
6. メディアセンサーの種類を選択し、キャリブレーションをクリックします。

キャリブレーション

☒ ギャップ

☐ ブラックマーク

☐ 無定長

☐ 自動選択

用紙の長さ

mm

ギャップ

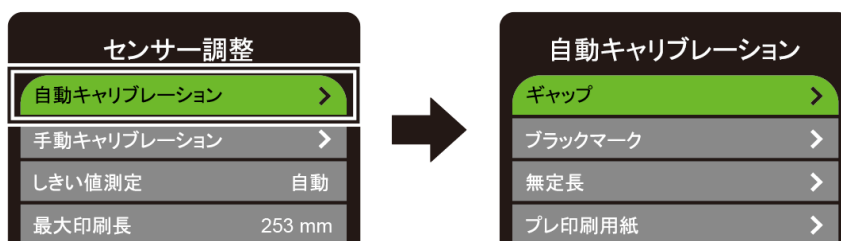
mm

キャリブレーション

8.2.1 LCD を使用しての用紙の自動キャリブレーション

LCD (タッチパネル)を使用する場合：

1. メニューボタン (≡) を選択します。
2. センサー調整  を選択します。
3. 自動キャリブレーションを選択します。
4. メディアタイプを選択し、用紙のキャリブレーションを開始します。



9. RFID の設定

※TJ-4121TNR でのみ使用できます

9.1 はじめに

EEPROM を使用したスマートラベルを印刷する場合、プリンターがそれらを正常に認識するまでに何枚かの RFID タグの書き込み・検証を少なくとも一回は行う必要があります。各ラベルの印刷の間にプリンターが一時停止することがありますが、これは品質と信頼性を確保するために必要なものです。

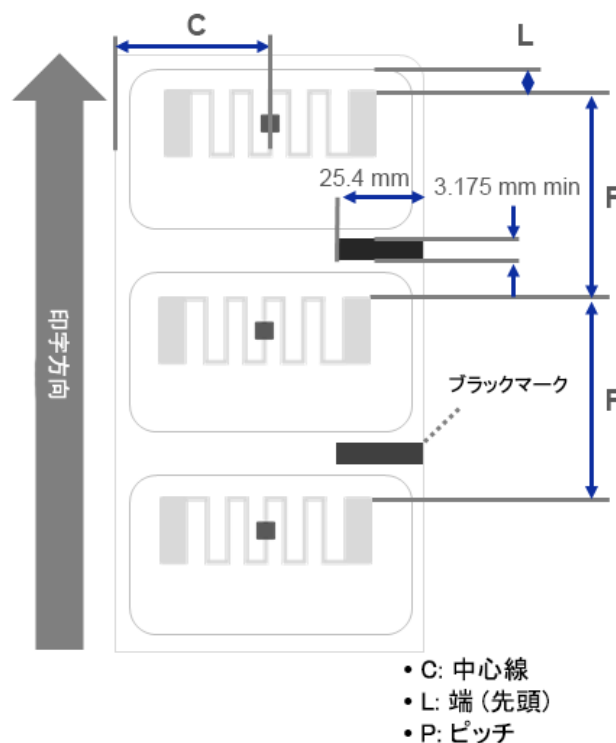
お願い

スマートラベルは静電気によって破損することがあります。スマートラベルを扱う前に、プリンターの用紙カバーを開け、塗装されていない金属部分に触れ、手にたまっている静電気を放電してください。

このプリンターには、自動キャリブレーション機能が搭載されているため、正確なインレイの配置や RFID 出力設定を指定する必要はありません。キャリブレーションの工程は、一般的なラベルサイズに埋め込まれている多くの主要なインレイに対応しており、他の多くのインレイにも対応可能です。

最適なパフォーマンスのために：

- インレイは用紙の横方向の中心に配置します（寸法C）。ただし、中心にあることより、タグごとに常に一定間隔で配置されていることが重要です。
- ピッチは、インレイからインレイの距離です（寸法P）。ピッチ上にあるタグおよびピッチが25.4 mm未満のタグの場合、エンコーディング・印刷プロセス中にプリンターがラベルを逆送りする必要が生じ、スループットを低下させます。これを避けるため、ピッチは25.4mmよりも大きくしてください。
- インレイは用紙の先端より、すべてのタグで同じ距離だけ下げて配置します（寸法L）。逆送りを避けるため、25.4mmより長いラベルの場合、この距離を12.7mmよりも大きくします。



重要

用紙を大量購入する前に、必ずお使いのプリンターで RFID 用紙をテストしてください。

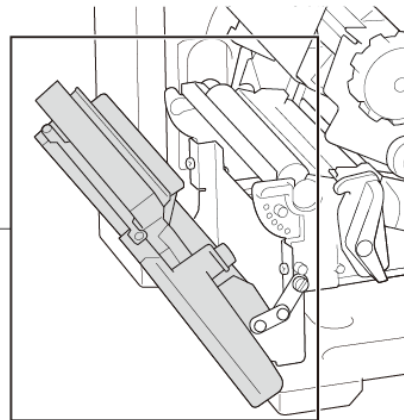
9.2 RFID キャリブレーション

TJ-4121TNR の用紙出力スロットには 位置が固定された RFID アンテナが備えられています。このアンテナは、幅広いタイプのタグに対応します。

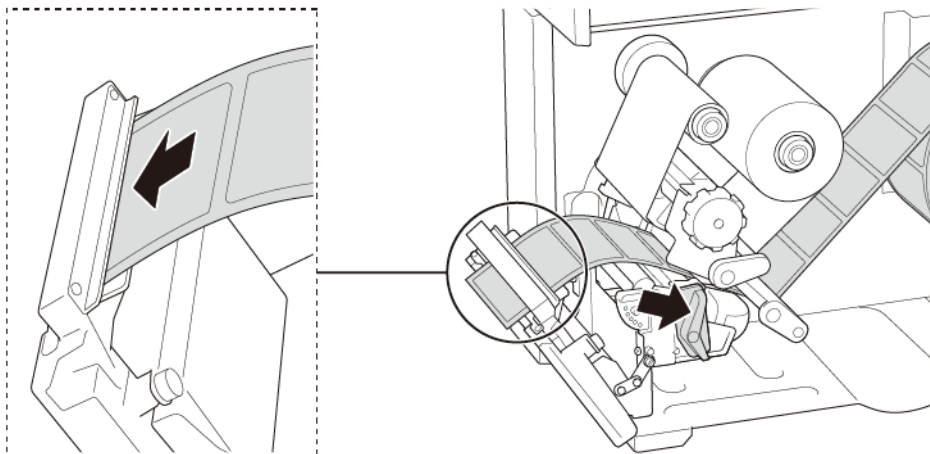
9.2.1 RFID 用紙のセット

1. ラベル供給軸に RFID 用紙をセットします。
2. 印字ヘッドと RFID ティアカバーを開けます。用紙をダンパー、メディアセンサー、前面ラベルガイドに通してセットします。

RFID ティアカバー



3. RFID 用紙をティアカバースロットに送り込みます。



4. メディアセンサー位置調整つまみを調整して、メディアセンサーを移動させます。ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーの位置がラベルロールのギャップ/ブラックマークの位置と合っていることを確認します。
5. 前面ラベルガイドを調整し、用紙の位置を固定します。
6. 印字ヘッドと RFID ティアカバーを閉じます。

9.2.2 RFID キャリブレーションの手順

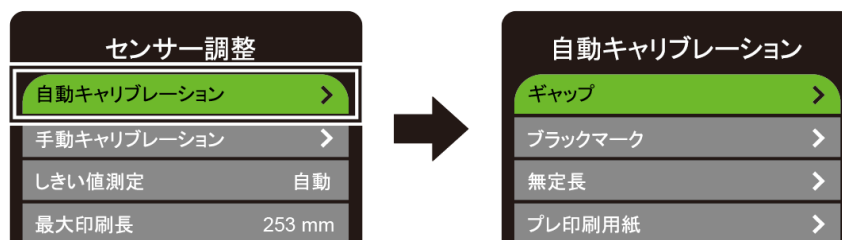
お願い

最適なキャリブレーション結果を得るため、RFID キャリブレーションを行う前に、用紙のキャリブレーションを実行してください。リボンおよびラベルロールが正しくセットされていることを確認します。

1. 用紙の自動キャリブレーションを実行します。

● **タッチパネルを使用する場合：**

- プリンターに RFID 用紙をセットします。
- (熱転写のみ) プリンターにリボンをセットします。
- メニューアイコン (≡) をタップします。
- センサー調整アイコン  をタップします。
- 自動キャリブレーションをタップし、メディアタイプを選択し、 アイコンをタップして、用紙のキャリブレーションを開始します。



お願い

詳細は、「[7.2 センサー設定](#)」をご覧ください。

● **BPM を使用する場合：**

- プリンターに RFID 用紙をセットします。
- (熱転写のみ) プリンターにリボンをセットします。
- パソコンとプリンターを USB ケーブルでつなぎます。
- BPM を実行します。
- 一覧にあるプリンターを選択し、メンテナンス ボタンをクリックします。

- f. キャリブレーションをクリックします。

- g. プリンター設定をクリックし、FBPL タブで用紙幅と高さが正しく設定されていることを確認します。

● AUTODETECT コマンドを使用する場合：

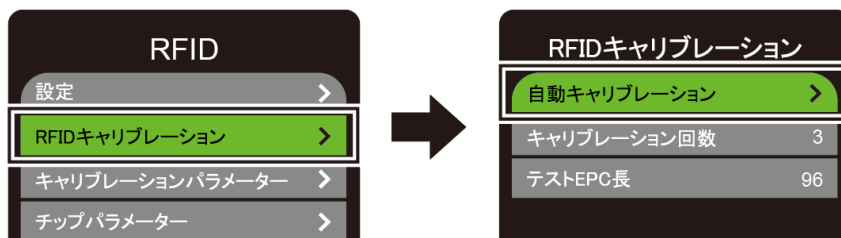
お願ひ

詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページで、FBPL コマンドリファレンスをご覧ください。

2. RFID キャリブレーションを開始します。

● タッチパネルを使用する場合：

メニュー → インターフェイス → RFID → RFID キャリブレーション → 自動キャリブレーションの順にタップし、 アイコンをタップします。



お願ひ

詳細は、「[7.3.4 RFID \(Radio Frequency Identification\) 設定](#)」をご覧ください。

● RFIDDETECT コマンドを使用する場合：

お願ひ

詳細については、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページで、FBPL コマンドリファレンスをご覧ください。

3. タグの種類と長さによっては、キャリブレーションには数分かかることがあります。キャリブレーション終了時に、緑または赤の画面が表示されます。キャリブレーションが正常に行われた場合は緑の画面が、キャリブレーションに失敗した場合は赤の画面が表示されます。
4. キャリブレーションに失敗した場合は、 または  アイコンをタップして、エラーを解除します。タグとリーダーに互換性がないことが理由でキャリブレーションが正常に行われないことがあります。キャリブレーション完了後、 または  アイコンをタップして、次へ進み、RFID キャリブレーションの値を保存します。

 お願い

詳細は、「[11.3 RFID エラーメッセージ \(TJ-4121TNR\)](#)」をご覧ください。

10. 製品仕様

ディスプレイ	
タッチパネル	3.5 インチカラータッチパネル
LED	ステータス LED 1 個 (3 色 : 緑、赤、黄色)
印刷	
印刷方式	熱転写印刷および感熱印刷
最大印字幅	(TJ-4021TN) 107 mm (TJ-4121TN、TJ-4121TNR) 105.7 mm
最大印刷長	(TJ-4021TN) 25,400 mm (TJ-4121TN、TJ-4121TNR) 11,430 mm
最高印字速度	(TJ-4021TN) 254 mm/秒 (TJ-4121TN、TJ-4121TNR) 177.8 mm/秒
ハクリモードの印字速度	(TJ-4021TN、TJ-4121TN) 最高 76.2 mm/秒 (3 ips)
印刷解像度	(TJ-4021TN) 203 dpi (TJ-4121TN、TJ-4121TNR) 300 dpi
サイズ	
外形寸法	(TJ-4021TN、TJ-4121TN) 約 248 mm (幅) × 436 mm (奥行) × 274 mm (高さ) (TJ-4121TNR) 約 248 mm (幅) × 443 mm (奥行) × 274 mm (高さ)
重量	(TJ-4021TN、TJ-4121TN) 約 9.4 kg (TJ-4121TNR) 約 9.9 kg

インターフェイス	
USB	USB Ver. 2.0 (High Speed) (Type B)
シリアル	RS-232C
有線 LAN	10/100 Mbps
USB ホストポート	スタンドアロン : USB キーボード、USB スキャナー ストレージ : USB フラッシュドライブ
Wi-Fi (オプション)	IEEE 802.11a/b/g/n
Wi-Fi セキュリティ	オープン、WEP オープン、WPA-PSK/WPA2 (AES および TKIP) - 802.11i - WPA2-Enterprise : EAP-FAST、EAP-TTLS、EAP-TLS、PEAPv0
環境	
温度条件	動作温度 : 0 °C ~ 40 °C 保管温度 : -40 °C ~ 60 °C
湿度条件	動作湿度 : 25% ~ 85% (結露なきこと) 保管湿度 : 10% ~ 90% (結露なきこと)
電源	
電源	内蔵スイッチング電源 • 入力 : AC 100V - 240V、4.0A - 2.0A、50Hz - 60Hz • 出力 : DC 5V、5.0A ; DC 24V、7.0A ; DC 36V、1.4A ; 計 243.4W
用紙仕様	
用紙種類	無定長、プレカット紙、ブラックマーク、ファンフォールド紙、ノッチ付き用紙、RFID タグ (TJ-4121TNR のみ)
巻き方式	外巻き
用紙幅	手切りモード : 20 mm ~ 120 mm カッターモード : 20 mm ~ 114 mm ハクリモード : 20 mm ~ 120 mm RFID モード : 25.4 mm ~ 116 mm
用紙厚さ	0.06 mm ~ 0.28 mm 最大 1.0 mm (金属対応 RFID 用紙) (TJ-4121TNR のみ)
ロール外径 (最大)	203.2 mm (8 インチ)
芯サイズ	25.4 mm ~ 76.2 mm
ギャップの高さ	最小 2 mm
黒マークの高さ	最小 2 mm
黒マークの幅	最小 8 mm
メディアセンサー	ギャップ (透過型)、ブラックマーク (完全可動式反射型)

リボン仕様	
幅	最大長さ 450 m、最大外径 81.3 mm
芯サイズ	25.4 mm
巻き方式	TJ-4021、TJ-4121TN：インクコート外側経路またはインクコート内側経路 TJ-4121TNR：インクコート外側経路
リボン幅	40 mm～110 mm 幅が用紙の幅よりも広いリボンを使用してください。
RFID 仕様 (TJ-4121TNR のみ)	
RF プロトコル	UHF EPC global Class 1 Gen2 / ISO 18000-6C
動作周波数	Global (902 MHz～928 MHz) および EU (866 MHz～868 MHz)
最小ピッチ	15.875 mm
その他	
カッターモード	レギュラーギロチンカッターオプション (ユーザー交換不可) ^{1、2}
ハクリユニット	ハクリユニットオプション (ユーザー交換不可) ^{1、2}
対応バーコード	- 一次元バーコード Code 11 (USD-8)、Code 39、Code 93、Code 128 with subsets A/B/C、UPC-A、UPC-E、EAN-8、EAN-13、UPC and EAN 2- or 5-digit extensions、GS1-128 (UCC/EAN-128)、MSI、Plessey、POSTNET、Standard 2-of-5 (IATA)、Industrial 2-of-5、Interleaved 2-of-5、ITF-14、EAN-14、LOGMARS、Codabar (NW-7)、Planet、Telepen、Deutsche Post Identcode、Deutsche Post Leitcode、Datalogic 2-of-5 (China Post) - 二次元バーコード CODABLOCK F、PDF417、Code 49、GS1 DataMatrix、MaxiCode、QR Code、TLC39、MicroPDF417、GS1 DataBar (RSS)、Aztec Code
プリンター制御コマンド	FBPL-EZD (FBPL II、EPL II、ZPL II、DPL 互換) FBPL-EZS (FBPL II、EPL II、ZPL II、SBPL 互換)
内蔵フォント	8 種類の英数字ビットマップフォント - Monotype Imaging® TrueType font engine with one CG Triumvirate Bold Condensed scalable font

¹ RFID タグとは互換性がありません。

² ユーザー着脱不可のため、ご要望の際はブラザーコールセンターへお問い合わせください。

11. トラブルシューティング

11.1 一般的な問題

この章では、プリンターの使用中に発生する可能性のある一般的な問題の対処方法について説明します。プリンターに問題が発生した場合、まずは下記の原因と解決方法をご確認ください。それでも問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンターまたはお近くの販売店までお問い合わせください。

問題	考えられる原因	解決方法
ステータス LED が点灯しない。	電源コードが正しく接続されていない。	プリンターが電源コードで電源コンセント（電源プラグ）に正しく接続されていることを確認してください。
	電源スイッチがオフになっている。	プリンターの電源をオンにします。
メモリが一杯（DRAM/FLASH/CARD）。	プリンターの DRAM/FLASH/CARD のメモリが一杯である。	DRAM/FLASH/CARD から使用していないファイルを削除してください。
印刷品質がよくない。	リボン/用紙が正しくセットされていない。	リボン/用紙をセットし直してください。
	印字ヘッドに埃や粘着物がたまっている。	印字ヘッドを清掃してください。 プラテンローラーを清掃してください。
	印刷濃度が正しく設定されていない。	印刷濃度と印字速度を調整してください。
	印字ヘッドが損傷している。	プリンターのセルフテストを行い、欠けているドットがないか印字ヘッドテストパターンを確認してください。
	リボン/用紙が本機に対応していない。	正しいリボン/用紙をセットしてください。
	印字ヘッドのテンションが正しく設定されていない。	印字ヘッドテンション調整つまみを使用して、印字ヘッドのテンションを調整してください。（「 4.印刷品質の向上 」を参照）
		リリースレバーで印字ヘッドを所定の位置に固定してください。
ラベルの右側または左側に印字がされない。	ラベルサイズが正しく指定されていない。	ラベルサイズが正しく設定されていることを確認してください。
ラベルにグレーの線が入る。	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃してください。
	プラテンローラーが汚れている。	プラテンローラーを清掃してください。（「 12.メンテナンス 」を参照。）
印刷が乱れている。	プリンターがダンプモードになっている。	プリンターの電源を入れ直し、ダンプモードを解除してください。（「 6.1.2 ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーション、セルフテスト、ダンプモード 」を参照。）
	プリンターの RS-232 通信が正しく設定されていない。	プリンターの RS-232 通信が正しく設定されていることを確認してください。詳細は、「 7.3.1 シリアル通信設定 」をご覧ください。

問題	考えられる原因	解決方法
印刷時にラベルの送りがおかしい (斜めになる)。	用紙ガイドが用紙の端に触れていない。	ラベルが右側に移動している場合は、前面ラベルガイドを左側に動かしてください。
		ラベルが左側に移動している場合は、前面ラベルガイドを右側に動かしてください。
印刷時、ラベルがスキップされる。	ラベルサイズが正しく指定されていない。	ラベルサイズが正しく設定されていることを確認してください。
	センサーの感度が正しく設定されていない。	ギャップセンサーのキャリブレーションを手動または自動で行ってください (「 7.2 センサー設定 」を参照)。
	メディアセンサーが汚れている。	エアダスターまたは掃除機で、ギャップセンサー/ブラックマークセンサーを清掃してください。
リボンにシワができる。	印字ヘッドのテンションが正しく設定されていない。	印字ヘッドテンション調整つまみを使用して、印字ヘッドのテンションを調整してください。(「 4.印刷品質の向上 」を参照)
	リボンが正しくセットされていない。	リボンをセットし直してください。 リボンロールをセットするには、「 3.2 リボンをセットする 」を参照してください。
	用紙が正しくセットされていない。	ラベルロールをセットし直してください。 ラベルロールをセットするには、「 3.4 メディアをセットする 」を参照してください。
	印刷濃度が正しく設定されていない。	印刷品質を向上するため印刷濃度を調整してください。
	用紙が正しく給紙されていない。	前面ラベルガイドが、用紙ガイドの端に触れていることを確認してください。
プリンターの再起動時にRTC (リアルタイムクロック) の時間がずれている。	コイン電池が外れている。 コイン電池残量がない。	ブラザーコールセンターまたはお近くの販売店までお問い合わせください。
左側の印刷位置が正しくない。	ラベルサイズが正しく設定されていない。	正しいラベルサイズを設定してください。
	X シフトが正しく設定されていない。	X シフトの設定を微調整してください。 詳細は、「 7.1.1 FBPL 設定 」をご覧ください。
小さなラベルで正しい位置に印刷されない。	メディアセンサーの感度が正しく設定されていない。	センサー感度のキャリブレーションを再度行ってください。
	ラベルサイズが正しくない。	正しいラベルサイズとギャップサイズを設定してください。
	Y シフトが正しく設定されていない。	Y シフトの設定を微調整してください。 詳細は、「 7.1.1 FBPL 設定 」をご覧ください。

問題	考えられる原因	解決方法
	ドライバーの縦方向位置調整の設定が正しくない。	BarTender ソフトウェアを使用している場合は、ドライバーで縦方向位置調整 (V) を設定してください。 
用紙がプラテンローラーに巻きつく。	ラベルの粘着物がプラテンロールに付着している。	プラテンローラーを定期的に清掃してください。

11.2 タッチパネルのエラーメッセージ

エラーが発生すると、タッチパネルに該当するエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	考えられる原因	解決方法
プリントヘッドオープン	印字ヘッドが開いている。	印字ヘッドを閉めてください。
印刷できません	シリアルまたは USB ケーブルが正しく接続されていない。	シリアルまたは USB ケーブルを接続し直してください。
	無線機器がプリンターに正しく接続されていない可能性がある。	機器の無線設定をリセットして、機器を設定し直してください。
	シリアルまたは USB ケーブルが正しく接続されていない可能性がある。	新しいケーブルをお試してください。
	Windows のドライバーで誤ったポートが指定されている。	正しいポートを指定してください。
	印字ヘッドの掃除が必要な可能性がある。	印字ヘッドを清掃してください。
	印字ヘッドのハーネスコネクタが、印字ヘッドに正しく接続されていない可能性がある。	プリンターの電源を切り、印字ヘッドのハーネスコネクタを印字ヘッドに接続し直してください。
	カスタムプログラムに、必要なコマンドが含まれていない可能性がある。	プログラムファイルの最後に PRINT コマンドが含まれていることと、各コマンドラインの最後に CRLF が含まれていることを確認してください。
ラベルに印刷できません	リボン/用紙が正しくセットされていない。	リボン/用紙をセットし直してください。
		インクコートリボンが正しい位置にセットされていることを確認してください。
	リボン/用紙が本機に対応していない。	正しいリボン/用紙をセットしてください。
	印刷濃度が正しく設定されていない。	印刷濃度を調整してください。
リボン切れ	リボンがなくなった。	新しいリボンロールをセットしてください。新しいリボンロールをセットするには、「 3.2 リボンをセットする 」を参照してください。
	リボンが正しくセットされていない。	リボンをセットし直してください。リボンロールをセットするには、「 3.2 リボンをセットする 」を参照してください。
用紙切れ	ラベルロールがなくなった。	新しいラベルロールをセットしてください。新しいラベルロールをセットするには、「 3.4 メディアをセットする 」を参照してください。
	ラベルが正しくセットされていない。	ラベルロールをセットし直してください。ラベルロールをセットするには、「 3.4 メディアをセットする 」を参照してください。
	ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーションが行われていない。	ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行ってください。

エラーメッセージ	考えられる原因	解決方法
用紙詰まり	ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーションが行われていない。	ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行ってください。
	ラベルサイズが正しく設定されていない。	ラベルサイズを正しく設定してください。
	プリンター内で用紙詰まりが発生している。	詰まっている用紙を取り除いてください。
用紙を取り除いて下さい	ハクリモードが有効になっている。	ラベルを取り除いてください。

11.3 RFID エラーメッセージ (TJ-4121TNR)

RFID エンコーダーは、いくつかのエラーを検出できます。これらのエラーが発生すると、RFID エンコーダーによってプリンターにアラートが送信され、タッチパネルに該当するエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	考えられる原因	解決方法
RFID 機能が 無効です	RFID 機能が有効になっていない。	RFID > 設定 > RFID 有効 を選択して、RFID 機能を有効にしてください。
EPC 書き込み失敗	診断 > EPC 書き込みテスト(1s) または EPC 書き込みテスト(2s) 経由で EPC タグを書き込めない。	- ラベルの位置がずれている可能性があります。ラベルを上端に合わせるため、センサー調整 > 自動キャリブレーションを実行します。 RFID > RFID キャリブレーション > 自動キャリブレーションを選択します。 - 正しい位置に配置された RFID タグ付きのスマートラベルを使用します。 - RFID タグに欠陥がある可能性があります。別のタグをお試しください。 - アプリケーションが RFID タグに送信する桁数が多すぎないこと、少なすぎないことを確認してください。
RFID キャリブレーション タグの書き込みに 失敗しました	RFID キャリブレーションを実行できない。	- ラベルの位置がずれている可能性があります。ラベルを上端に合わせるため、センサー調整 > 自動キャリブレーションを実行します。 - 正しい位置に配置された RFID タグ付きのスマートラベルを使用します。 - RFID タグに欠陥がある可能性があります。別のタグをお試しください。
RFID が 無効です	RFID 機能が無効の状態で、RFID コマンドがプリンターに送信されている。	RFID > 設定 > RFID 有効を選択して、RFID 機能を有効にしてください。 - RFID コマンドを送信してください。

エラーメッセージ	考えられる原因	解決方法
RFID データが含まれていません RFID タグ上	「非 RFID コマンド受信警告」オプションを「有効」にすると (RFID > 設定 > 非 RFID コマンド受信警告)、プリンターが非 RFID データを取得する。	必ず RFID コマンドをプリンターに送信してください。
無効な RFID データです	送信された RFID タグデータが設定と一致しない。	RFID コマンドのタグデータを確認してください。
無効なデータサイズです	送信されたタグ長パラメーター (RFID コマンドのサイズパラメーター) が設定と一致しない。	RFID コマンドのデータ長を確認してください。
RFID タグ不良です	タグに書き込めない。	- ラベルの位置がずれている可能性があります。ラベルを上端に合わせるため、センサー調整 > 自動キャリブレーションを実行します。 RFID > RFID キャリブレーション > 自動キャリブレーションを選択します。 - 正しい位置に配置された RFID タグ付きのスマートラベルを使用します。 - RFID タグに欠陥がある可能性があります。別のタグをお試しください。 - アプリケーションが RFID タグに送信する桁数が多すぎないこと、少なすぎないことを確認してください。 - RFID コマンドが正しいことを確認してください。
タグの読み取りができませんでした タグが見つかりません	タグを読み取れない。	- 用紙が正しい位置に配置された RFID タグ付きのスマートラベルであることを確認してください。 - RFID タグに欠陥がある可能性があります。別のタグをお試しください。
用紙を取り除いて下さい または 用紙切れ	プリンター内に用紙が詰まっているか、用紙サイズが誤っている。	- プリンターを傷付けないよう、慎重にラベルを取り除いてください。 - 用紙が正しい位置に配置された RFID タグ付きのスマートラベルであることを確認してください。 - プリンターへの振動を軽減するため、印刷されたラベルが下に自由に落ちるようにプリンターを配置してください。 - ギャップセンサー/ブラックマークセンサーのキャリブレーションを行ってください。 - ラベルサイズを正しく設定してください。

 お願い

RFID タグの書き込みができない場合：

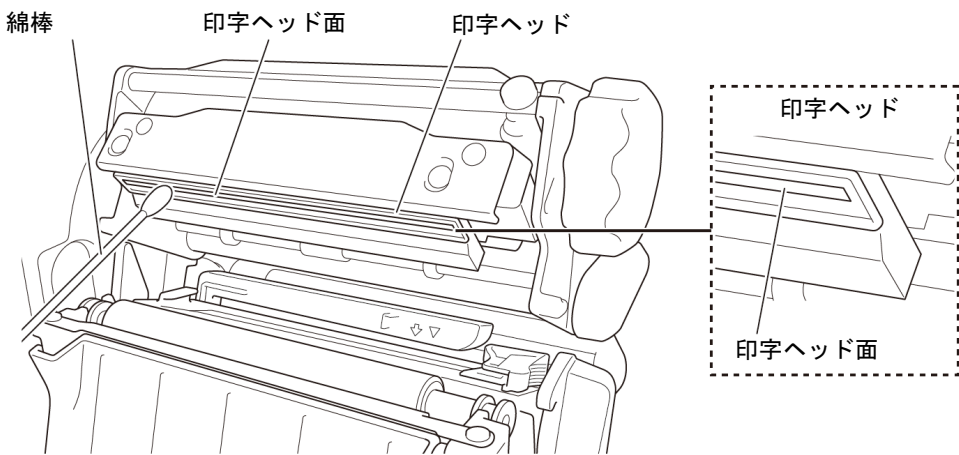
- 正しい位置に配置された RFID タグ付きのスマートラベルを使用していることを確認してください。
 - RFID タグに欠陥がある可能性があります。別のタグをお試してください。
 - ラベルサイズを正しく設定し、RFID タグのキャリブレーションを行ってください。
 - センサーの感度を正しく設定してください（タッチパネルで設定する場合：**センサー調整 > しきい値調整**）。
 - RFID コマンドのデータ長を確認してください。
-

12. メンテナンス

性能を適切に発揮させるため、プリンターを定期的に清掃することをお勧めします。

推奨の清掃用品：

- 綿棒
- 柔らかくて繊維の出ない布
- 掃除機/ブロワーブラシ
- エアダスター
- イソプロピルアルコールまたはエタノール

プリンター部位	清掃方法	頻度
印字ヘッド	1. プリンターの電源をオフにします。 2. 印字ヘッドの温度が下がるまで 1 分以上待ちます。 3. イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた綿棒で印字ヘッドを拭きます。	ラベルロールの交換時。
		
プラテンローラー	1. プリンターの電源をオフにします。 2. プラテンローラーを回転し、イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた、柔らかくて繊維の出ない布または綿棒でプラテンローラーをよく拭きます。	ラベルロールの交換時。
剥離バー	イソプロピルアルコールまたはエタノールを含ませた、柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。	必要に応じて。
センサー	エアダスターまたは掃除機を使用します。	月一回。
外面	プリンターの外面を、水を含ませた柔らかくて繊維の出ない布で拭き取ります。	必要に応じて。
内面	ブロワーブラシか掃除機を使用します。	必要に応じて。

お願い

- 印字ヘッドを触らないでください。触ってしまった場合は、上記の方法で清掃してください。
 - 医療用アルコールは印字ヘッドに損傷を与える場合がありますので、使用しないでください。
イソプロピルアルコールまたはエタノールは、製造元メーカーの安全ガイドラインに従って使用してください。
 - 性能を適切に維持するため、新しいリボンをセットする際は毎回印字ヘッドとセンサーを清掃することをお勧めします。
-

重要

プリンター、部品、消耗品を使用しなくなった場合は、適切に廃棄してください。プリンターに用紙詰まりがないことを確認し、使用済みの熱転写リボンに印字した内容が残っている場合は、リボンをはさみで切るなどして破棄してください。

保証書は本機に同梱されています。販売店・お買い上げ年月日等が記入されているかご確認ください。

保証書、保証規定をよくお読みの上、大切に保管してください。

アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、お買い上げの販売店、または下記「ブラザーコールセンター」までお問い合わせください。

ブラザーコールセンター	
URL	support.brother.co.jp (スマートフォンはこちらから)
	
TEL	0570-061030
受付時間	月～土 9:00～12:00 / 13:00～17:00
* 日曜日・祝日・弊社指定休日を除く	
* 営業時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。 その際はホームページにてお知らせいたします。	
(ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。)	

brother